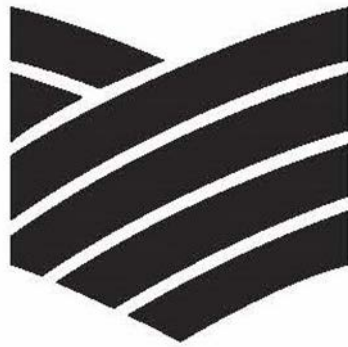


令和6年度

学校推薦型選抜学生募集要項



三 重 大 学

自然災害や人為災害，感染症の全国的な拡大等の不測の事態への対応について

学生募集要項に記載のある出願期間，試験日及び入学試験の実施方法等を異なる内容に変更する可能性があります。

変更がある場合は，本学ウェブサイト「入試情報」にて掲載します。

三重大学ウェブサイト「入試情報」 <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>



目 次

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 学部別募集人員等	8
3. 推薦要件	11
4. 出願手続	21
5. 受験票について	28
6. 志願のしかた	28
7. 選抜方法	30
8. 障害等のある入学志願者との事前相談について	43
9. 受験に際しての注意事項	45
10. 不正行為の取扱いについて	46
11. 合格者の発表	46
12. 入学手続	48
13. 学校推薦型選抜に不合格になった者の取扱い	49
14. 受験時の宿泊案内	49
15. 学校推薦型選抜実施状況	49
16. 学校推薦型選抜情報について	50
17. 個人情報の利用目的について	56

三重大学配置図

三重大学位置図

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

三重大学は、本学の一員となって学び続ける意欲を持つ、次のような学生を求めます。

- 入学後の修学に必要な基礎的知識と技能を有している（知識・技能）
- ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えることができる（思考力・判断力）
- 自分の考えを的確に表現し、伝えることができる（表現力）
- 人や自然に対して関心を持ち、社会に貢献したいという意欲を有している（主体性）
- 他の人と相互理解を図り協力して、新しい課題に積極的に挑戦しようとする態度を有している（協働性・主体性・多様性）

上記の方針に基づき、学部ごとに適切な選抜方法を定め、実施します。

「人文学部」

—このような人を求めます—

- 人間の文化、または、社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心をもっている人。
- 積極的・人間的に生きるために、人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
- 現代社会における諸問題を理解し、解決策を探求しようとする意欲がある人。
- そのために必要な基礎学力、論理的思考力、読解力、表現力を持つ人。
- これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

—入学者選抜方針—

- 学校推薦型選抜【法律経済学科のみ】（大学入学共通テストを課さない）【推薦A, B】

現代社会の課題に取り組むために必要な専門知識を身につける意欲を持ち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。総合的基礎学力を調査書で、論理的思考力・表現力を課題作文で、勉学への意欲やコミュニケーション能力を志願理由書及び面接で評価し、総合的な選抜をします。

- 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦C】

文化学科では、人間の文化と社会の動きやしぐみについて深く理解するために必要な専門知識を身につける意欲を持ち、高等学校若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。総合的基礎学力を調査書及び大学入学共通テスト（5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目）で、論理的思考力・勉学への意欲やコミュニケーション能力を志願理由書及び面接で評価し、総合的な選抜をします。

法律経済学科では、現代社会の課題に取り組むために必要な専門知識を身につける意欲を持ち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。総合的基礎学力を調査書及び大学入学共通テスト（5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目）で、論理的思考力・勉学への意欲やコミュニケーション能力を志願理由書及び面接で評価し、総合的な選抜をします。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

人文学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。

<人文学部>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②			③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
学校推薦型選抜	推薦A・B	課題作文	○		○			
		面接			○		○	
		調査書					(総合判定の参考)	
	推薦C	志願理由書					(総合判定の参考)	
		面接			○		○	
		調査書					(総合判定の参考)	
		志願理由書				(総合判定の参考)		

「教育学部」

—このような人を求めます—

- 子どもと教育に関心を持ち、将来、教員になりたいと思っている人（関心・意欲・態度）
- 教育に関する専門的な知識・技能を学修する上で必要となる基礎学力を有している人（知識・理解）
- ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えようとする人（思考・判断）
- 自分の考えを的確に表現し、伝えようとする人（技能・表現）

—入学者選抜方針—

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦Ⅰ】

技術・ものづくり教育（中等教育選修のみ）、学校教育（教育学専攻、教育心理学専攻）の各コース・専攻で募集します。志望する分野における学修への強い熱意と探究心、積極的で主体的に取り組む態度を見るために、個別学力検査（面接及び出願書類）を課します。また、志望する分野における専門的知識と幅広い基礎学力を見るために、個別学力検査（小論文）を課します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦Ⅱ】

家政教育コース（初等教育選修）で募集します。志望する分野における学修への強い熱意と探究心、積極的で主体的に取り組む態度を見るために、個別学力検査（面接及び出願書類）を課します。また、志望する分野で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テストを課します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【地域推薦（三重県南部地域）】

国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育（いずれも初等教育選修のみ）、及び学校教育（教育学専攻、教育心理学専攻）の各コース・専攻で募集します。志望する分野における学修への強い熱意と探究心、積極的で主体的に取り組む態度、及び、三重県南部地域の小学校教育に将来的に貢献する意志の有無を見るために、個別学力検査（面接及び出願書類）を課します。また、志望する分野で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テストを課します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【地域推薦（三重県全域）】

国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育（いずれも初等教育選修のみ）、特別支援教育、幼児教育及び学校教育（教育学専攻、教育心理学専攻）の各コース・専攻で募集します。志望する分野における学修への強い熱意と探究心、積極的で主体的に取り組む態度、及び、三重県の教育に将来的に貢献する意志の有無を見るために、個別学力検査（面接及び出願書類）を課します。また、志望する分野で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テストを課します。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

教育学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。また、「○」の後に () で記載した内容は、特に () の内容が重点評価対象項目であることを示しています。

<教育学部>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
学校推薦型選抜	推薦Ⅰ	小論文	○		○*	○*	○(主体性を評価対象とします)*
		面接			○*	○*	○(主体性を評価対象とします)
		調査書	(総合判定の参考)				
		推薦書	(総合判定の参考)				
		志願理由書	(総合判定の参考)				
		教員志望確認書	(総合判定の参考)				
	推薦Ⅱ	面接			○	○	○(主体性を評価対象とします)
		調査書	(総合判定の参考)				
		推薦書	(総合判定の参考)				
		志願理由書	(総合判定の参考)				
		教員志望確認書	(総合判定の参考)				
	地域推薦	小論文			○	○	
		面接				○	○(主体性を評価対象とします)
		実技		○	○*	○*	
		調査書	(総合判定の参考)				
推薦書		(総合判定の参考)					
	志願理由書	(総合判定の参考)					

*一部のコースに限る

「医学部」

—このような人を育てます—

医学部における教育に関する方針は、「医療に求められる使命感、倫理観、臨床判断力・実践力と医学・看護学研究を推進する創造的研究力を培い、人類の健康と福祉に貢献する医療人を育成する」ことです。

医学科では、基礎医学、社会医学、臨床医学の分野で活躍する人材を養成していきます。すなわち、コミュニケーション能力に優れ、幅広い知識と質の高い技術を持って患者中心の医療を実践できる能力、自ら問題を発見し科学的根拠に基づいた思考によって問題を解決できる能力、あるいは地域及び国際社会における健康の増進、疾病の予防に寄与し、人類の保健、繁栄に貢献できる能力を養います。

看護学科では、人間の誕生から死に至るまでの、様々な健康状態にある人達の健康と生活の質の向上にむけた支援ができるよう、Heart(こころ)・Head(専門知識)・Hand(専門技術)を伸ばす教育を通して、広く保健・医療に携わる看護職者を育成します。そして、倫理観と責任感を備え、協調性のある豊かな人間性と国際的感覚をもち、地域医療・保健に貢献できる看護職者の育成に努めます。

—このような人を求めます—

医学科では特に以下の人を求めます。

- 医学の進歩と人類の健康の向上に対して高い関心を持っている。
- 入学後の修学に必要な学習能力と誠実な人間性を備えている。
- 困難に立ち向かう強さと人への優しさを備えている。
- 地域医療への貢献に対する意識を持っている。

看護学科では特に以下の人を求めます。

- 看護職者を目指すために必要な基礎学力を備え、論理的に物事を考えられる人。
- 人の健康に関心が強く、看護の分野で社会に貢献する意志をもっている人。
- 探求心と自立心をもって、主体的・協働的に課題に取り組める人。
- 相手の立場を理解し、柔軟に物事を考え、表現できる人。
- 国際的な視野をもち、地域の医療・保健の向上に貢献することを希望する人。

—入学者選抜方針—

- 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

医学科では、大学入学共通テストの成績で、論理的な思考や医学を学び活かすための基礎学力の程度を評価し、2日間の詳細面接並びに小論文で、医師としての適格性を評価し、アドミッション・ポリシーに沿った人材の選抜を行います。

看護学科では、看護学の授業や実習での体験を総合的に学び活かせる基礎学力の程度を評価するために大学入学共通テストを課し、さらに看護職への強い関心・意欲、探求心、社会貢献への希望など、看護への適性を判断するために面接を実施します。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

医学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。

<医学部 医学科>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
学校推薦型選抜	推薦	小論文	○		○		○
		面接	○		○	○	○
		調査書	○		○	○	○
		推薦書	○		○	○	○
		志願理由書	○		○	○	○

<医学部 看護学科>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
学校推薦型選抜	面接			○	○	○	
	調査書					(総合判定の参考)	
	推薦書					(総合判定の参考)	
	志願理由書					(総合判定の参考)	

「工 学 部」

—このような人を育てます—

工学部は、科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と、社会で活躍するための実践力や表現力を養います。

—このような人を求めます—

- 自然、社会、文化等に対して幅広い関心が有り、それらの基礎学力を持った人。
- 工学を理解するために必要な数学、理科に興味があり、それらを応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。
- 自分の考えを的確に表現し、論理的に伝えることができる人。
- 工学における問題解決の実践に情熱があり、社会に貢献しようという気概を持った人。
- 工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心を持ち、真摯に問題を探求し続ける姿勢を持った人。

—入学者選抜方針—

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦①】

工学に関する専門知識を身につける意欲を持ち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。科学への関心が高く、工学部、特に志望する教育コースで学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち、工学に関する問題の解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めるために、小論文、面接及び出願書類（電気電子工学コースは筆記試験、応用化学コースは基本的な化学実験もあり）によって選抜します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦②】

機械工学に関する専門知識を身につける意欲を持ち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。科学への関心が高く、機械工学コースで学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち、工学に関する問題の解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めるために、大学入学共通テスト（3教科5科目）、面接及び出願書類によって選抜します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦③】

工業（電気電子）に関する学科で学んだ者のうち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。科学への関心が高く、電気電子工学コースで学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち、工学に関する問題の解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めるために、面接及び出願書類によって選抜します。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

工学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。また、「○」の後に（）で記載した内容は、特に（）の内容が重点評価対象項目であることを示しています。

<工学部 機械工学コース>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
学校推薦型選抜	推薦①	小論文	○		○	○	
		面接	○		○	○	○ (主体性を評価対象とします)
		調査書					○
		推薦書	○				○ (主体性・多様性を評価対象とします)
	推薦②	面接	○		○	○	○
		調査書					○
		推薦書	○				○ (主体性・多様性を評価対象とします)
		志願理由書				○	○ (主体性・多様性を評価対象とします)

<工学部 電気電子工学コース>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
学校推薦型選抜	推薦①	筆記試験 (物理・数学)	○		○	○	
		面接	○		○	○	○ (主体性を評価対象とします)
		調査書					○
		推薦書	○				○ (主体性・多様性を評価対象とします)
		志願理由書				○	○ (主体性・多様性を評価対象とします)
	推薦③	面接	○		○	○	○
		資格試験	○				○ (主体性・多様性を評価対象とします)
		調査書					○
		推薦書	○				○ (主体性・多様性を評価対象とします)
		志願理由書				○	○ (主体性・多様性を評価対象とします)

<工学部 応用化学コース>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
学校推薦型選抜	推薦①	基本的な化学実験	○		○		○ (主体性を評価対象とします)
		小論文	○		○	○	
		面接	○		○	○	○
		調査書					○
		推薦書					○ (主体性・多様性を評価対象とします)
		志願理由書				○	○ (主体性・多様性を評価対象とします)

「生物資源学部」

—このような人を育てます—

生物資源学部は、地域に根ざした視点に立ちながらも国際的な視野をもち、自然との共存を図りつつ生物資源の適正な開発・利用と保全を追求するための科学技術に関する教育・研究成果を生み出すことを目指しています。そのために、自然科学分野の基礎知識だけでなく農林水産学、環境科学、生命科学の各分野における専門知識を身に付けることにより、独創性と広い視野を持ち、地域社会だけでなく国際社会にも貢献できる人材の育成を目標としています。

—このような人を求めます—

- 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識を有する人。
- 農林水産学を対象とした専門高校において専門科目を深く学び、優れた成績を修めた人。
- 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識ならびに理解能力を有している人。
- 生命科学や農林水産学に関わる様々な現象に関心を持ち、生物資源の適正な開発・利用と保全に関心のある人。
- 自然と人が共生する持続的社会的な創出を目指し、社会貢献に対する明確な目的意識を有する人。

—入学者選抜方針—

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦Ⅰ】

農業，水産，工業に関する学科又は総合学科で学んだ者のうち，高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。自然科学への関心が高く，生物資源学部，特に志望する専修で学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち，生物資源に関する問題の解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めめるために，小論文，面接及び出願書類により選抜します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦Ⅱ】

普通科又はそれに準ずる学科で学んだ者のうち，高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。自然科学への関心が高く，生物資源学部で学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち，生物資源に関する問題の解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めめるために，大学入学共通テスト，面接及び出願書類によって選抜します。

特に，生物資源総合科学コースでは，地域課題に対する意欲の高い学生を求めます。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

生物資源学部では，次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示しています。

<生物資源学部 生物資源総合科学コース>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
学校推薦型選抜	推薦Ⅱ (紀伊黒潮枠)	面接	○		○	○	○
		調査書					
		志願理由書				○	

<生物資源学部 農林環境科学コース・海洋生物資源学コース・生命化学コース>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
学校推薦型選抜	推薦Ⅰ	小論文	○		○	○	○
		面接	○		○	○	
		調査書					
		志願理由書				○	
	推薦Ⅱ	面接	○		○	○	○
		調査書					
志願理由書					○		

2. 学部別募集人員等

本学で意欲的に学修する明確な意志を持ち多様な適性・能力を有する学生を求めて、高等学校長若しくは中等教育学校長等の推薦する者を対象に、学生を選抜する学校推薦型選抜を下記のとおり実施します。

学部	学科・課程・コース等		募集人員等 「注1」	大学入学 共通 テスト 「注2」	対象とする高等学校若しくは 中等教育学校等の学科
人文学部	推薦 A	法律経済学科	5	×	普通科, 理数に関する学科, 外国語に関する学科, 国際関係に関する学科, その他普通科に準ずると認められる学科
	推薦 B		3		総合学科, 商業に関する学科, 情報に関する学科
	推薦 C	文化学科	5	○	全ての学科
		法律経済学科	10		
	計			23	
教育学部	推薦 I	学校教育教員養成課程 技術・ものづくり教育コース (中等教育選修)	1	×	工業に関する学科又は総合学科(工業に関する教科・科目を20単位以上修得した者又は見込みの者)
		学校教育教員養成課程 学校教育コース(教育学専攻)	3		
		学校教育教員養成課程 学校教育コース(教育心理学専攻)	3		
	推薦 II	学校教育教員養成課程 家政教育コース(初等教育選修)	3	○	全ての学科
	計			10	
	地域推薦 三重県 南部地域	学校教育教員養成課程 国語教育コース(初等教育選修) 社会科教育コース(初等教育選修) 数学教育コース(初等教育選修) 理科教育コース(初等教育選修) 音楽教育コース(初等教育選修) 美術教育コース(初等教育選修) 保健体育コース(初等教育選修) 技術・ものづくり教育コース (初等教育選修) 家政教育コース(初等教育選修) 英語教育コース(初等教育選修) 学校教育コース (教育学専攻, 教育心理学専攻)		若干名 「注3」	○
計			若干名 「注3」		

学部	学科・課程・コース等		募集人員等 「注1」	大学入学 共通 テスト 「注2」	対象とする高等学校若しくは 中等教育学校等の学科	
教育学部	地域推薦 (三重県 全域)	学校教育教員養成課程 国語教育コース(初等教育選修) 社会科教育コース(初等教育選修) 数学教育コース(初等教育選修) 理科教育コース(初等教育選修) 音楽教育コース(初等教育選修) 美術教育コース(初等教育選修) 保健体育コース(初等教育選修) 技術・ものづくり教育コース (初等教育選修) 家政教育コース(初等教育選修) 英語教育コース(初等教育選修) 特別支援教育コース 幼児教育コース 学校教育コース (教育学専攻, 教育心理学専攻)	若干名 「注4」	○	全ての学科	
		計	若干名 「注4」			
医学部	医 学 科		40 「注5」 (一般枠10名程度 地域枠30名程度 を含む (地域枠A:25名程度 地域枠B:5名程度))	○	全ての学科	
	看 護 学 科		20 地域枠13名 程度を含む	○	全ての学科	
	計		60			
工学部	推薦①	総合 工 学 科	機械工学コース	10	×	全ての学科
			電気電子工学コース	10		
			応用化学コース	10		
	推薦②	工 学 科	機械工学コース	10	○	工業(電気電子)に関する学科
	推薦③		電気電子工学コース	3	×	
計		43				

学部	学科・課程・コース等		募集人員等 「注1」	大学入学 共通 テスト 「注2」	対象とする高等学校若しくは 中等教育学校等の学科	
生物 資源 学部	推薦Ⅰ	生物 資源 学科	農林環境科学コース	7	×	農業、水産、工業に関する学科及 び総合学科（農業、水産、工業に 関する教科・科目を20単位以上 修得した者又は見込みの者）
			海洋生物資源学コース	2		
			生命化学コース	2		
	推薦Ⅱ		生物資源総合科学コース	15 〔紀伊黒潮枠15名〕	○	普通科、理数に関する学科、国際 関係に関する学科、その他普通科 に準ずると認められる学科
			農林環境科学コース	18		
			海洋生物資源学コース	6		
			生命化学コース	20		
計			70			
合 計			206			

「注1」 欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部、教育学部は前期日程で、医学部、工学部、生物資源学部は前期日程及び後期日程で行います。

「注2」 「大学入学共通テスト」欄について、○印は大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜を示し、×印は大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜を示します。

「注3」 (1) 地域推薦（三重県南部地域）の合格者は、各コース1名以内とします。
(2) 地域推薦（三重県南部地域）の合格者は、合計で5名以内とします。
(3) 地域推薦（三重県南部地域）で合格者があった場合は、前期日程の定員を充当します。

「注4」 (1) 地域推薦（三重県全域）の合格者は、前期日程初等教育選修の募集人員（選修の種別がないコースは前期日程の募集人数）が5名以下のコースは1名以内、6名以上の場合は2名以内とします。
(2) 地域推薦（三重県全域）で合格者があった場合は、前期日程の定員を充当します。

「注5」 医学部医学科の募集人数は記載の人数で文部科学省及び厚生労働省へ認可手続申請中です。確定次第本学ウェブサイト「入試情報」でお知らせします。

<https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

3. 推 薦 要 件

下記の要件を満たし、学力・人物に優れ、志望する学科等への能力・適性等について高等学校長若しくは中等教育学校長等が責任をもって推薦でき、合格した場合に入学することを確約できる者としてします。

ただし、本学における他学部及び他大学へ重複して推薦されていない者に限ります。

◎人文学部

学科・区分		推 薦 要 件
文化 学 科	推薦C (募集人員 5名)	人間の文化と社会の動きやしづくみに強い関心・好奇心をもち、それらについて深く理解することを望む者で、下記の要件を満たし、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合に入学することを確約できるもの。 高等学校若しくは中等教育学校を令和6年3月に卒業見込みの者(注1)で学習成績概評がB段階以上のもの。 (注1)学校教育法施行規則第93条第3項の規程に基づき、令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
	推薦A (募集人員 5名)	高等学校若しくは中等教育学校の普通科、理数に関する学科、外国語に関する学科、国際関係に関する学科、その他普通科に準ずると認められる学科を令和6年3月に卒業見込みの者(注2)で、現代社会の課題に取り組む意欲があり、次の要件を満たすもの。 (1)高等学校若しくは中等教育学校における学習成績概評がA段階である者 (2)実用英語技能検定準2級以上(日本英語検定協会)を取得している者※ なお、1高等学校若しくは1中等教育学校から推薦できる人数は、2名以内とします。 (注2)学校教育法施行規則第93条第3項の規程に基づき、令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校のこれらの学科を卒業した者又は卒業見込みの者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設のこれらの学科に準ずる当該課程を令和5年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
法律 経 済 学 科	推薦B (募集人員 3名)	高等学校若しくは中等教育学校の総合学科、商業に関する学科、情報に関する学科を令和6年3月に卒業見込みの者(注3)で、現代社会の課題に取り組む意欲があり、次の要件を満たすもの。 (1)高等学校若しくは中等教育学校における学習成績概評がA段階である者 (2)下記のいずれかを取得している者※ ・実用英語技能検定準2級以上(日本英語検定協会) ・簿記検定2級以上(日商) ・簿記検定1級(全商) ・情報処理検定ビジネス情報部門1級(全商) ・ITパスポート試験(情報処理推進機構) ・基本情報技術者試験(情報処理推進機構) ・応用情報技術者試験(情報処理推進機構) なお、1高等学校若しくは1中等教育学校から推薦できる人数は、2名以内とします。 (注3)学校教育法施行規則第93条第3項の規程に基づき、令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校のこれらの学科を卒業した者又は卒業見込みの者を含みます。
	推薦C (募集人員 10名)	現代社会の課題に取り組む意欲のある者で、下記の要件を満たし、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合に入学することを確約できるもの。 高等学校若しくは中等教育学校を令和6年3月に卒業見込みの者(注4)で学習成績概評がB段階以上のもの。 (注4)学校教育法施行規則第93条第3項の規程に基づき、令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

※推薦要件における出願資格等について(人文学部)

新型コロナウイルス感染症の影響により、大会・資格・検定試験等に参加又は受検できずに推薦要件を満たすことができない場合については配慮します。対象となる場合は、出願に先立ち、必ず三重大学学務部入試チーム(電話番号:059-231-9063)までお問い合わせください。

◎教育学部

1 高等学校若しくは1中等教育学校等から推薦できる人数は、推薦Ⅰに掲げる各専攻・選修について1名とし、推薦Ⅱに掲げるコースについては、制限はありません。

課程・コース・区分		推 薦 要 件
推 薦 Ⅰ	学校教育教員養成課程 技術・ものづくり 教育コース (中等教育選修) (募集人員 1名)	下記各号いずれかに該当する者で、調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上であり技術教育とその基礎となる科学技術に強い関心を持つもの (1)高等学校若しくは中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科(工業に関する教科・科目を20単位以上修得した者又は見込みの者)を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者※1 (2)学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度及び令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科(工業に関する教科・科目を20単位以上修得した者又は見込みの者)を卒業又は卒業見込みの者※2
	学校教育教員養成課程 学校教育コース (教育学専攻) (募集人員 3名)	(1)高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者 (2)学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度及び令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 (3)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和6年3月までに修了又は修了見込みの者 上記(1)～(3)のいずれかに該当する者で、調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上であり教育学の知見をベースとして学校教育場面の教育・制度・組織に関する強い関心と意欲を持つもの
	学校教育教員養成課程 学校教育コース (教育心理学専攻) (募集人員 3名)	(1)高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者 (2)学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度及び令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 (3)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和6年3月までに修了又は修了見込みの者 上記(1)～(3)のいずれかに該当する者で、調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上であり心理学の知見をベースとして学校教育場面での発達支援に関する強い関心と意欲を持つもの
推 薦 Ⅱ	学校教育教員養成課程 家政教育コース (初等教育選修) (募集人員 3名)	(1)高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者 (2)学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度及び令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 (3)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和6年3月までに修了又は修了見込みの者 上記(1)～(3)のいずれかに該当し、次の要件を満たす者 1. 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上であり家政教育に強い関心と意欲を持つ者 2. 令和6年度大学入学共通テストにおいて、本コースが指定した教科・科目を受験する者

※1 令和5年3月に高等専門学校の3年次を修了した者及び令和6年3月に高等専門学校の3年次を修了見込みの者を含む。

※2 令和4年度中に高等専門学校の3年次を修了した者及び令和5年度中に高等専門学校の3年次を修了見込みの者を含む。

課程・コース・区分		推 薦 要 件
地域推薦 (三重県南部地域)	学校教育教員養成課程 国語教育 社会科教育 数学教育 理科教育 音楽教育 美術教育 保健体育 技術・ものづくり教育 家政教育 英語教育 の各コースの初等教育 選修	(1)高等学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者※1 (2)学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度及び令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者※2 上記(1)(2)のいずれかに該当し、次の要件を満たす者 1.鳥羽市、志摩市、南伊勢町、大紀町、大台町、紀北町、尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町に居住し、同市町の高等学校等※3を卒業した者又は卒業見込みの者で、三重県南部地域の小学校教育に高い関心と強い意欲を持ち、将来教員として同市町に定着する意志の強いもの 2.調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者 3.豊かな人間関係を築くことができ、高いコミュニケーション能力を有する者 4.居住する市町の教育委員会が行う面接により、本課程の学生としてふさわしい意欲・資質・適性等を備えている者であると評価され、推薦を受けたもの 5.令和6年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者 6.合格した場合、三重県南部地域において、将来教員として定着することについて誓約書を提出する者 7.合格した場合、居住する市町の奨学金（実施している場合）へ応募する者
	学校教育コース (教育学専攻、 教育心理学専攻) (募集人員 若干名)	

地域推薦（三重県南部地域）では、三重県南部地域の小学校教員として定着し、初等教育に貢献する強い意志のある方を募集します。入学後には、南部地域の小学校で教育実習などの活動を行います。受験するにあたり、出身学校長と市町教育長からの推薦を要件とします。1 高等学校等から推薦できる人数は5名以内としますが、第1志望のコースに2名以上出願することはできません。

※1 令和5年3月に高等専門学校の3年次を修了した者及び令和6年3月に高等専門学校の3年次を修了見込みの者を含む。また、令和5年3月に特別支援学校の高等部を修了した者及び令和6年3月に特別支援学校の高等部を修了見込みの者を含む。

※2 令和4年度中に高等専門学校の3年次を修了した者及び令和5年度中に高等専門学校の3年次を修了見込みの者を含む。また、令和4年度中に特別支援学校の高等部を修了した者及び令和5年度中に特別支援学校の高等部を修了見込みの者を含む。

※3 南伊勢高校の度会校舎は度会郡度会町に所在するが、南伊勢高校の一部ということで対象とする。

[注] 各市町教育委員会への問い合わせ先

鳥羽市教育委員会	学校教育課	0599-25-1265
志摩市教育委員会	教育総務課	0599-44-0315
南伊勢町教育委員会	学校教育係	0596-77-0002
大紀町教育委員会	学校教育課	0598-72-4040
大台町教育委員会	教育課	0598-82-3791
紀北町教育委員会	学校教育課	0597-46-3124
尾鷲市教育委員会	教育総務課	0597-23-8291
熊野市教育委員会	学校教育課奨学金担当	0597-89-4111 (代表) 内線 410
御浜町教育委員会	教育係	05979-3-0526
紀宝町教育委員会	教育課	0735-33-0341

課程・コース・区分	推 薦 要 件
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域推薦（三重県全域）</p> <p>学校教育教員養成課程 国 語 教 育 社 会 科 教 育 数 学 教 育 理 科 教 育 音 楽 教 育 美 術 教 育 保 健 体 育 技術・ものづくり教育 家 政 教 育 英 語 教 育 の各コースの初等教育 選修 特 別 支 援 教 育 幼 児 教 育 学 校 教 育 （教育学専攻， 教育心理学専攻） の各コース （募集人員 若干名）</p>	<p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者※1</p> <p>(2)学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度及び令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者※2</p> <p>上記(1)(2)のいずれかに該当し、次の要件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 三重県に居住し、同県の高等学校若しくは中等教育学校等を卒業した者又は卒業見込みの者で、三重県の教育に高い関心と強い意欲を持ち、将来教員として同県に定着する意志の強いもの 2. 調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者 3. 豊かな人間関係を築くことができ、高いコミュニケーション能力を有する者 4. 令和6年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者 5. 合格した場合、将来、三重県において教員または保育士として定着することについて誓約書を提出する者

地域推薦（三重県全域）では、三重県の教員として定着し、三重県の教育に貢献する強い意志のある方を募集します。入学後には、三重県にて教育実習などの活動を行います。受験するにあたり、出身学校長からの推薦を要件とします。1 高等学校若しくは中等教育学校等から推薦できる人数は3名以内としますが、1つのコースに2名以上出願することはできません。

- ※1 令和5年3月に高等専門学校の3年次を修了した者及び令和6年3月に高等専門学校の3年次を修了見込みの者を含む。また、令和5年3月に特別支援学校の高等部を修了した者及び令和6年3月に特別支援学校の高等部を修了見込みの者を含む。
- ※2 令和4年度中に高等専門学校の3年次を修了した者及び令和5年度中に高等専門学校の3年次を修了見込みの者を含む。また、令和4年度中に特別支援学校の高等部を修了した者及び令和5年度中に特別支援学校の高等部を修了見込みの者を含む。

◎医学部

医学科：学校推薦型選抜地域枠では、卒業後、三重県地域医療支援センターのキャリア形成プログラムに沿って勤務し（注1）、三重県内での医療・医学の発展とその継続に貢献することを確約できる志願者を募集します。地域枠合格者には、「三重県医師修学資金」の貸与を受けていただくこととなります。

地域枠Aでは、入学後、医学部医学・看護学教育センターの指導・助言を受けるとともに、三重県地域医療支援センターのキャリア形成卒前支援プランの適用を受けて、医学部での地域医療の学習を行います。卒業後は、三重大学医学部附属病院又は三重県内の基幹型臨床研修病院での臨床研修プログラムに参加します（注2）。その後、専門医取得を目的として三重大学医学部附属病院群での専門研修プログラムに沿って研修します。また、出願時には、三重県での医療と医学の発展に貢献するにあたっての所信書の提出を義務付けます。

地域枠Bでは、1市・町から推薦できる人数は2名以内とします。地域枠B入学者は入学後、医学部医学・看護学教育センターの指導・助言を受けるとともに、三重県地域医療支援センターのキャリア形成卒前支援プランの適用を受けて、医学部での地域医療の学習を行います。卒業後は、三重大学医学部附属病院又は推薦病院での臨床研修プログラムに参加します。その後、専門医取得を目的として三重大学医学部附属病院群での専門研修プログラムに沿って研修するとともに、指定する診療科（内科、外科、救急科、総合診療科）（注3）において勤務します。また、出願時には、三重県及び推薦地域での医療と医学の発展に貢献するにあたっての所信書の提出を義務付けます。

一般枠志願者においても、卒業後一定期間、三重県内で医療・医学領域に貢献する意志のある志願者を募集します。また、出願時には、三重県での医療・医学に貢献するにあたっての所信書の提出を義務付けます。

三重県医師修学資金は、在学中に貸与を受け、キャリア形成卒前支援プランに沿って地域医療の学習を行い、医学部卒業後に、医師としてキャリア形成プログラムに沿って一定の年数を三重県内の医療機関等に勤務することにより、貸与額全額の返還が免除されます。

詳細については、三重県医療保健部医療人材課の三重県医師修学資金のウェブサイトを参照してください。

（注1）医師不足地域での一定期間の勤務を含みます。

（注2）基幹型臨床研修病院とは、臨床研修病院のうち、他の病院又は診療所と共同して臨床研修を行う病院であって、当該臨床研修の全体的な管理・責任を有する病院をいいます。

（注3）医療不足地域における需要が高く、今後の地域医療体制の確保に必要な診療科を指定します。なお、推薦地域での勤務において、選択した診療科の指導医がいない場合は、指導医がいる診療科で勤務していただきます。

学科・区分		推 薦 要 件
医 学 科 〔 募 集 人 員 40 名 〕 「注 3」	各 推 薦 枠 共 通 要 件	1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和 5 年 3 月に卒業した者及び令和 6 年 3 月に卒業見込みの者 2. 学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき、令和 4 年度中及び令和 5 年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 4 年 4 月から令和 6 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 上記 1～3 のいずれかに該当し、次の要件を満たす者 (1) 将来の医師及び医学研究者にふさわしい優れた能力・倫理観・責任感を有する者 (2) 高等学校若しくは中等教育学校における学習成績概評が A 段階の者（調査書に㊸標示「注 1」を希望します。） (3) 令和 6 年度大学入学共通テストにおいて、本学科が指定した教科・科目を受験する者
	一 般 枠 〔 募 集 人 員 10 名 程 度 〕	上記、各推薦枠共通要件を満たす者
	地 域 枠 A 〔 募 集 人 員 25 名 程 度 〕	各推薦枠共通要件に加え、以下の(1)又は(2)に該当し、(3)～(5)の条件を満たす者 (1) 卒業あるいは卒業見込みの高等学校若しくは中等教育学校の所在地が三重県内であること。 (2) 卒業あるいは卒業見込みの高等学校若しくは中等教育学校の所在地が三重県外であっても、出願時において、出願予定者を現に扶養する者「注 2」が 3 年以上三重県内に居住している者（出願時に、住民票（マイナンバーの記載がないもの）で確認します。） (3) 「地域枠 A」での志願者には誓約書、同意書及び本人確認書類を提出していただきます。 (4) 「地域枠 A」の入学者には、「三重県医師修学資金」の貸与を受けていただくとともに、「三重県地域医療支援センターキャリア形成卒前支援プラン」の適用を受けていただきます。 (5) 卒業後は、「三重県地域医療支援センターキャリア形成プログラム」に基づき、三重県の指定する医療機関等で、9 年間勤務していただきます。
	地 域 枠 B 〔 募 集 人 員 5 名 程 度 〕	各推薦枠共通要件に加え、以下の(1)～(5)の条件を満たす者 (1) 出願時において、出願予定者を現に扶養する者「注 2」が 3 年以上対象とする市・町に居住している者（出願時に、住民票（マイナンバーの記載がないもの）で確認します。） (2) 対象とする市・町長と、三重大学医学部が指定する病院（三重県立志摩病院、尾鷲総合病院、紀南病院組合立紀南病院、伊賀市立上野総合市民病院、岡波総合病院、名張市立病院、三重県立一志病院、三重厚生連松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院、松阪市民病院）のいずれかの病院長とが共同で行う面接によって、地域医療を担う医師にふさわしい優れた能力・倫理観・責任感を有する者であるかの評価を受け、対象とする市・町長の推薦を受けたもの 対象とする市・町：鳥羽市、志摩市、南伊勢町、大紀町、大台町、多気町、紀北町、尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町、伊賀市、名張市、津市（旧美杉村に限る）、松阪市（旧飯南町、旧飯高町に限る） (3) 「地域枠 B」での志願者には誓約書、同意書及び本人確認書類を提出していただきます。 (4) 「地域枠 B」の入学者には、「三重県医師修学資金」の貸与を受けていただくとともに、「三重県地域医療支援センターキャリア形成卒前支援プラン」の適用を受けていただきます。 (5) 卒業後は、「三重県地域医療支援センターキャリア形成プログラム」に基づき、三重県の指定する医療機関等で、9 年間勤務していただきます。なお、臨床研修後は、指定する診療科（内科、外科、救急科、総合診療科）の医師として勤務していただきます。「注 4」

「注 1」 調査書に㊸を標示した場合は、調査書の「備考」欄にその理由を必ず明示してください。

(理由を明示していない場合は、㊸の扱いをしません。)

「注 2」 現に扶養する扶養義務者を指します。出願時から遡って 3 年以上、三重県内で扶養していることが必要です。扶養関係を認定するための資料の提出をお願いする場合があります。

「注 3」 医学部医学科の募集人数は記載の人数で文部科学省及び厚生労働省へ認可手続申請中です。

確定次第本学ウェブサイト「入試情報」でお知らせします。 <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

「注 4」 推薦地域での勤務において、選択した診療科の指導医がない場合は、指導医がいる診療科で勤務していただきます。

看護学科：三重県の医療・保健に積極的に参加する意志のある者を希望します。

1 高等学校若しくは1中等教育学校から推薦できる人数に制限はありません。

地域枠では、卒業あるいは卒業見込の高等学校若しくは中等教育学校が三重県内にあり、卒業後は三重県での医療・保健に貢献することを確約できる者を募集し、入学時には、誓約書の提出を義務付けます。

学 科	推 薦 要 件
看護学科 〔募集人員〕 20名 〔地域枠〕 13名程度 を含む	1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者 2. 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度中及び令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和6年3月までに修了又は修了見込みの者 上記1～3のいずれかに該当し、次の要件を満たす者としてします。 (1) 将来の看護職者及び看護学研究者にふさわしい優れた能力・倫理観・責任感について、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任を持って推薦できる者 (2) 高等学校若しくは中等教育学校における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者 (3) 令和6年度大学入学共通テストにおいて、本学科が指定した教科・科目を受験する者 (4) 合格した場合入学することが確約できる者 (5) 地域枠については、卒業あるいは卒業見込みの高等学校若しくは中等教育学校の所在地が三重県内であること。 (6) 地域枠については、卒業後は三重県の医療・保健に貢献できることを確約できる者
「注」地域枠にて出願し合格した者は、地域枠による入学者として取り扱います。	

◎工 学 部

学科・区分・コース		推 薦 要 件
推 薦 ①	総合工学科 機械工学コース (募集人員 10名)	<p>高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合に入学することを確約できる者となります。</p> <p>1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者 2. 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度中及び令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和6年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>上記1～3のいずれかに該当し、成績が優秀で、次の要件を満たす者となります。</p>
	総合工学科 電気電子工学コース (募集人員 10名)	<p>機械工学コース</p> <p>(1) 特に機械工学に強い関心と勉強意欲を有する者 (2) 高等学校若しくは中等教育学校等における学習成績概評がB段階以上の者 (3) 1高等学校若しくは1中等教育学校から推薦できる人数は3名までとします。</p> <p>電気電子工学コース</p> <p>(1) 電気電子工学に関する専門分野を修める意欲を有する者 (2) 高等学校若しくは中等教育学校等における学習成績概評がB段階以上の者 (3) 1高等学校若しくは1中等教育学校から推薦できる人数に制限はありません。</p>
	総合工学科 応用化学コース (募集人員 10名)	<p>(1) 特に応用化学に強い関心と勉強意欲を有する者 (2) 高等学校若しくは中等教育学校等における学習成績概評がB段階以上の者 (3) 1高等学校若しくは1中等教育学校から推薦できる人数に制限はありません。</p> <p>応用化学コース</p> <p>(1) 特に応用化学に強い関心と勉強意欲を有する者 (2) 高等学校若しくは中等教育学校等における学習成績概評がB段階以上の者 (3) 1高等学校若しくは1中等教育学校から推薦できる人数に制限はありません。</p>
推 薦 ②	総合工学科 機械工学コース (募集人員 10名)	<p>高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合に入学することを確約できる者となります。</p> <p>1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者 2. 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度中及び令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和6年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>上記1～3のいずれかに該当し、成績が優秀で、次の要件を満たす者となります。</p> <p>(1) 特に機械工学に強い関心と勉強意欲を有する者 (2) 高等学校若しくは中等教育学校等における学習成績概評がB段階以上の者 (3) 令和6年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者 (4) 1高等学校若しくは1中等教育学校から推薦できる人数に制限はありません。</p>
推 薦 ③	総合工学科 電気電子工学コース (募集人員 3名)	<p>高等学校若しくは中等教育学校の工業（電気電子）に関する学科を令和6年3月に卒業見込みの者で、合格した場合には入学を確約できるものとなります。</p> <p>1. クラスの成績が上位5%程度以内の者 2. 次のいずれかの資格等に関する条件を満たす者※</p> <p>(1) 第二種電気主任技術者又は第三種電気主任技術者の合格若しくは法規を除く3科目の中で理論を含む2科目以上の合格 (2) 応用情報処理技術者 (3) 第一級陸上無線技術士の合格若しくは法規を除く3科目の中で1科目以上の合格 (4) エネルギー管理士における電気分野の合格 (5) ジュニアマイスター顕彰に係わる区分表の電気系、情報系、通信・無線系の類型に属する資格・検定等及び計算技術検定、情報技術検定、電気工事施工管理技術検定の上位3つの資格・検定等で40点以上</p> <p>上記1, 2のいずれかに該当し、電気電子工学に関する専門分野を修める意欲を有する者となります。</p> <p>なお、「1. クラスの成績が上位5%程度以内の者」に該当する場合においても、提出が必要な出願書類「⑤検定・資格試験合格書、証明書等の写し」を、現有の資格・検定等について必ず提出してください。</p>

※推薦要件における出願資格等について（工学部）

新型コロナウイルス感染症の影響により、大会・資格・検定試験等に参加又は受検できずに推薦要件を満たすことができない場合については配慮します。対象となる場合は、出願に先立ち必ず三重大学学務部入試チーム（電話番号：059-231-9063）までお問い合わせください。

◎生物資源学部

学科・区分		推 薦 要 件
推 薦 I	生物資源学科	<p>〔農業、水産、工業に関する学科及び総合学科（農業、水産、工業に関する教科・科目を20単位以上修得した者又は見込みの者）〕</p> <p>高等学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合に入学することを確約できる者としてします。</p> <p>(1)高等学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者</p> <p>(2)学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度中及び令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>上記(1),(2)のいずれかに該当し、成績が優秀で、次の要件を満たす者としてします。</p> <p>①特に生物資源学に強い関心と勉強意欲を有する者</p> <p>②高等学校における調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者</p> <p>1 高等学校から推薦できる人数は、各専修とも3名以内です。</p> <p>*出願することができるコース・専修は、下記のとおりとなります。</p> <p>なお、専修は2年次に選択するものを指します。専修によって出願要件が異なりますので、出願時に志願する専修を記入してください。</p>
	農林環境科学コース (募集人員 7名)	<p>1. 農業に関する学科（農業・園芸・畜産・農業経営等）を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>○農林環境科学コース（農学専修）</p>
	海洋生物資源学コース (募集人員 2名)	<p>2. 農業に関する学科（農業土木、農業工学・農業機械等）を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>○農林環境科学コース（農業工学専修）</p>
	生命化学コース (募集人員 2名)	<p>3. 農業に関する学科（林業・林産・造園緑地等）を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>○農林環境科学コース（森林科学専修、農業工学専修）</p> <p>4. 農業に関する学科（食品科学・生物工学等）を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>○生命化学コース全専修</p> <p>5. 水産に関する学科を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>○海洋生物資源学コース（海洋生物資源学専修）</p> <p>○生命化学コース（海洋生命化学専修）</p> <p>6. 工業に関する学科（土木・機械・電気・電子等）を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>○農林環境科学コース（農業工学専修）</p> <p>7. 工業に関する学科（化学等）を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>○農林環境科学コース（森林科学専修）</p> <p>○生命化学コース全専修</p>
		<p>上記に該当しない場合には、学務部入試チームに申し出てください。</p>

<p>推薦 Ⅱ (紀伊黒潮枠)</p>	<p>生物資源学科 生物資源総合科学コース (募集人員 15名)</p>	<p>[普通科，理数に関する学科，国際関係に関する学科，その他普通科に準ずると認められる学科] 高等学校長若しくは中等教育学校長が責任を持って推薦でき，合格した場合に入学することを確約できる者としします。 また，1 高等学校若しくは 1 中等教育学校から推薦できる人数に制限は設けません。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 6 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき，令和 5 年度中に卒業又は卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 5 年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>上記(1)～(3)のいずれかに該当し，英語・数学・理科の成績が優秀で，次の要件を満たす者とする。 ①特に生物資源学に強い関心と勉強意欲を有する者 ②高等学校もしくは中等教育学校における調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.3 以上である者 ③三重県・愛知県・奈良県・和歌山県の高等学校等を卒業した者又は卒業見込みの者で，紀伊黒潮地域の地域課題を理解し，同地域の地域共創に強い関心・意欲を有するもの ④令和 6 年度大学入学共通テストにおいて，指定した教科・科目を受験する者</p>
<p>推薦 Ⅱ</p>	<p>生物資源学科 農林環境科学コース (募集人員 18名) 海洋生物資源学コース (募集人員 6名) 生命化学コース (募集人員 20名)</p>	<p>[普通科，理数に関する学科，国際関係に関する学科，その他普通科に準ずると認められる学科] 高等学校長若しくは中等教育学校長が責任を持って推薦でき，合格した場合に入学することを確約できる者としします。 また，1 高等学校若しくは 1 中等教育学校から推薦できる人数に制限は設けません。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 6 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき，令和 5 年度中に卒業又は卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 5 年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>上記(1)～(3)のいずれかに該当し，英語・数学・理科の成績が優秀で，次の要件を満たす者とする。 ①特に生物資源学に強い関心と勉強意欲を有する者 ②高等学校もしくは中等教育学校における調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.3 以上である者 ③令和 6 年度大学入学共通テストにおいて，指定した教科・科目を受験する者</p>

4. 出願手続

(1) 出願方法

<注意>

1. インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続き完了にはなりません。出願期間内に必要な出願書類等が到着するように、書留速達で郵送する必要があります。
2. インターネット出願サイトでの志願者情報登録後、48時間以内に入学検定料を支払う必要があります。(ただし、出願期間最終日の17時までとなります。)
3. 上記1及び2を考慮し、余裕を持ってインターネット出願を行ってください。

インターネット出願の流れ

Step1 インターネット出願登録	パソコン・スマートフォン等で本学ウェブサイトから「インターネット出願サイト」にアクセスし、必要情報を入力、登録してください。
Step2 入学検定料 (17,000 円) の支払い	インターネット出願サイトの指示に従って、検定料をお支払いください。
Step3 必要書類等の準備	インターネット出願サイトから出願確認票等を印刷し、提出が必要な出願書類等を封筒に入れて準備してください。
Step4 必要書類等の郵送	推薦を行う高等学校若しくは中等教育学校等の長は、Step3で準備が整った必要書類等について、書留速達により郵送してください。なお、1学校において志願者が複数の場合は、志願者別に指定のラベルを張り付けた封筒に入れていただき、学校でとりまとめて送付してください。

※高等学校若しくは中等教育学校等の進路指導ご担当の方々へのお願い

- 学部・学科等によっては、同一の学校から推薦できる人数を制限しておりますので、学校において推薦人数を十分確認の上、推薦してください。
 - 1学校において志願者が複数の場合は、志願者別に出願書類を指定のラベルを張り付けた封筒に入れていただき、学校でとりまとめの上書留速達により郵送してください。(封筒等の表面に「学校推薦型選抜書類在中」と明記してください。)
- なお、出願は推薦を行う高等学校若しくは中等教育学校等の長から郵送することとなっておりますが、学校において推薦人数及び出願書類について十分確認された場合は、志願者本人から直接郵送していただいても構いません。

また、とりまとめの際は、貴校における出願件数の内訳(志願者本人が直接郵送する分も含む)を確認できる資料(様式任意)を同封願います。

(2) 出願期間等

学部・区分		期間			
		出願システム 入力期間	入学検定料 の支払い	出願期間 (提出が必要な出 願書類等の郵送)	
人文学部	推薦 A				
	推薦 B				
教育学部	推薦 I	学校教育教員養成課程 技術・ものづくり教育コース (中等教育選修)	令和5年 10月25日(水) 9時 ～ 11月7日(火) 17時まで	システム入力後 48時間以内 ※ただし、 11月7日(火) 17時まで	令和5年 11月1日(水) ～ 11月7日(火) 【17時必着】 ※ただし、上記期間 後に到着した場合で も11月7日(火) までの発信局消印が ある「書留速達」に 限り受理します。
		学校教育教員養成課程 学校教育コース (教育学専攻)			
		学校教育教員養成課程 学校教育コース (教育心理学専攻)			
工学部	推薦①	総合工学科 機械工学コース 電気電子工学コース 応用化学コース			
	推薦③	総合工学科 電気電子工学コース			
生物資源学部	推薦 I				
	推薦 II				
教育学部	推薦 II	学校教育教員養成課程 家政教育コース(初等教育選修)	令和5年 12月6日(水) 9時 ～ 12月18日(月) 17時まで	システム入力後 48時間以内 ※ただし、 12月18日(月) 17時まで	令和5年 12月13日(水) ～ 12月18日(月) 【17時必着】 ※ただし、上記期間 後に到着した場合で も12月18日(月) までの発信局消印が ある「書留速達」に 限り受理します。
	地域推薦 (三重県 南部地域)	学校教育教員養成課程 国語教育, 社会科教育, 数学教 育, 理科教育, 音楽教育, 美術 教育, 保健体育, 技術・ものづ くり教育, 家政教育, 英語教育 の各コース(初等教育選修), 学 校教育コース(教育学専攻, 教 育心理学専攻)			
	地域推薦 (三重県 全域)	学校教育教員養成課程 国語教育, 社会科教育, 数学教 育, 理科教育, 音楽教育, 美術 教育, 保健体育, 技術・ものづ くり教育, 家政教育, 英語教育 の各コース(初等教育選修), 特 別支援教育コース, 幼児教育コ ース, 学校教育コース(教育学 専攻, 教育心理学専攻)			
医学部					
人文学部	推薦 C				
工学部	推薦②	総合工学科 機械工学コース	令和6年 1月15日(月) 9時 ～ 1月22日(月) 17時まで	システム入力後 48時間以内 ※ただし、 1月22日(月) 17時まで	令和6年 1月16日(火) ～ 1月22日(月) 【17時必着】 ※ただし、上記期間後 に到着した場合でも1月 22日(月)までの発信 局消印がある「書留速 達」に限り受理します。

注意事項

上記期間中に、インターネット出願登録と入学検定料の支払いを済ませ、なおかつ必要書類等が本学に到着していなければいけません。書留速達以外で郵送した場合、事故があっても本学ではその責任を負いません。

(3) インターネット出願のために準備するもの

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は、学校、図書館、知人等のパソコン等から出願してください。
印刷環境（カラー推奨）	郵送が必要な書類を A4 用紙で印刷します。自宅にプリンタがない場合は、学校、図書館、知人、コンビニエンスストア等のプリンタから印刷してください。 カラー印刷ができない場合は、モノクロ印刷でも構いません。
メールの設定	出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン設定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。 @sak-sak.net.jp を受信可能なドメインとして設定してください。
提出が必要な出願書類等	26, 27 ページ参照の上、提出期限内に間に合うようあらかじめご用意ください。
封筒	必要書類等郵送のために、市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）をご用意ください。

(4) 出願手続の手順

本学ウェブサイトから「インターネット出願サイト」にアクセスしてください。

「インターネット出願サイト」

URL <https://www.mie-u.ac.jp/exam/internet/>



Step1 インターネット出願登録

- インターネット出願サイトの「利用案内」、「出願手順」、「Q&A」等を必ず確認してください。
- 画面に従って、出願登録を行ってください。
- 確認画面で登録内容に間違いがないか、確認してください。

※出願登録完了後の登録内容の変更はできませんので、登録した内容を十分に確認してください。

Step2 入学検定料の支払い

次のいずれかの方法で支払い手続を行ってください。上記(2)出願期間等に記載された支払い期限までにお支払いください。検定料の支払いにかかる手数料は志願者負担です。

A) クレジットカード・ネットバンキング

画面に従って、支払い手続を行ってください。

B) 指定のコンビニエンスストア及び pay-easy（ペイジー）取扱い金融機関 ATM

- 支払い方法を選択し、表示される番号（出願受付番号とは別の番号）をメモするか、画面を印刷してください。
- メモした番号等を使用し、コンビニエンスストア、金融機関で支払い手続を行ってください。

Step3 必要書類等の準備

A4 サイズの白の用紙で、「出願確認票」印刷（カラー推奨）してください。

「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷して封筒に貼り付けた上、提出が必要な出願書類等（26, 27 ページ(9) 提出が必要な出願書類等参照）を封筒に入れて準備してください。

Step4 必要書類等の郵送

推薦を行う高等学校若しくは中等教育学校等の長は、Step3 で準備が整った必要書類等について、書留速達により郵送してください。なお、1 学校において志願者が複数の場合は、志願者別に指定のラベルを張り付けた封筒に入れていただき、学校でとりまとめの上送付してください。（P21 も参照して下さい。）

(5) 入学検定料の支払い方法

支払い方法は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、銀行 ATM（ペイジー）が利用可能です。それぞれ手続等注意事項を確認の上、支払い方法を選択してください。詳しい支払い方法については、出願情報登録後の「お支払い方法選択」で選択した支払い方法の画面で確認してください。

検定料の支払いにかかる手数料は志願者負担です。

支払方法	取扱機関等	備考
クレジットカード	VISA, Master, AMERICAN EXPRESS, JCB, Diners Club	支払い方法は、一括払いのみです。
ネットバンキング	楽天銀行, au じぶん銀行, pay-easy 対応 ネットバンキング	事前に金融機関にて口座の開設, 申し込みが必要です。
コンビニエンスストア	セブンイレブン, ローソン, ミニストップ, ファミリーマート, デイリーヤマザキ・デイリーストア, セイコーマート	支払い方法は現金のみです。
銀行 ATM（ペイジー）	ゆうちょ銀行, みずほ銀行, 三菱 UFJ 銀行, 三井住友銀行, りそな銀行, 静岡銀行, スルガ銀行, 清水銀行, 大垣共立銀行, 十六銀行, 愛知銀行, 名古屋銀行, 百五銀行, 三十三銀行 他	取扱い金融機関の pay-easy マークの付いた ATM で支払うことができます。

【インターネット出願に関わる注意事項】

- 「出願受付番号」は、受験番号ではありません。
- インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正・変更は一切できませんので、誤入力のないよう注意してください。検定料支払い前に誤入力等に気がついた場合は、検定料を支払わずにもう一度新たに最初からやり直してください。
- インターネット出願登録完了後、支払い期限までに検定料の支払手続きが行われなかった場合、出願受付は完了しません。

(6) 入学検定料の返還について

入学検定料を払い込んだ後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還しません。

- A) 入学検定料を払い込んだが三重大学に出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合
- B) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

<返還請求の方法>

三重大学ウェブサイト入試情報 (<https://www.mie-u.ac.jp/exam/folder/index.html>) に掲載されている「入学検定料の返還について」にしたがって、返還手続きを速やかに行ってください。返還には、「出願受付番号」が必要になりますので、「出願確認票（本人控え）」等を大切に保管してください。

また、出願書類受付後に大学入学共通テストの受験教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した志願者に対しては、入学検定料（17,000 円）のうち、13,000 円を返還します。

なお、該当者に対しては、出願無資格者である旨を通知するとともに、入学検定料の返還手続きについてお知らせします。

(7) 入学検定料の免除について

三重大学（以下「本学」という。）では、令和 2 年 7 月豪雨、令和元年台風 19 号、北海道胆振東部地震、平成 30 年 7 月豪雨、熊本地震、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故及び台風等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、令和 6 年度の学校推薦型選抜に係る検定料について、次のとおり免除の特例措置を講じます。

[対象者]

免除対象となる入学者選抜試験に志願者のうち、次のいずれかに該当される方を対象とします。

(1)令和 2 年 7 月豪雨、令和元年台風 19 号、北海道胆振東部地震、平成 30 年 7 月豪雨、熊本地震、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故及び台風等（平成 23 年度以降の激甚災害指定）により被災し、次のいずれかに該当される方を対象とします。

- ①志願者の学費負担が災害救助法適用地域において被災し、家屋等が全壊、大規模半壊、半壊、流出の被害を受けた方
- ②学費負担者が災害等により死亡又は行方不明の方
- ③学費負担者が災害等により失職した方
- ④居住地が東京電力福島第一原子力発電所の事故により、避難指示解除準備区域、居住制限区域及び帰還困難区域に指定された方

(2)その他災害救助法に照らして、本学学長が該当すると認めた方

上記に該当される方は、「検定料免除申請書」を本学ウェブサイト「入試情報」に掲載されている「入学検定料免除の特例措置について」からダウンロードし、関係書類を添え出願受付開始の 1 週間前までに（必着）申請してください。書類の提出に関する問合せ等は、平日 8 時 30 分から 17 時 15 分の間に学務部入試チーム（059-231-9063）まで連絡してください。

- (8) 人文学部「推薦 C」、教育学部「推薦Ⅱ」「地域推薦（三重県南部地域）（三重県全域）」、医学部、工学部「推薦②」及び生物資源学部「推薦Ⅱ」志願者への注意点

出願後に大学入試センターへ「令和 6 年度大学入学共通テスト受験票」の再発行申請を行った者は、速やかに三重大学学務部入試チーム（電話：059-231-9063）に連絡し、指示に従ってください。連絡がない場合は、大学入試センターからの成績提供が受けられませんので、注意してください。

(9) 提出が必要な出願書類等

書 類 等	対象者	摘 要
① 出 願 確 認 票	全員	インターネット出願サイトの出願登録完了画面から出願確認票を印刷してください。 人文学部「推薦C」、教育学部「推薦Ⅱ」、「地域推薦（三重県南部地域）（三重県全域）」、医学部及び工学部「推薦②」志願者は、「令和6年度共通テスト成績請求票（国公立推薦型選抜用）」を必ず所定の欄に貼ってください。生物資源学部「推薦Ⅱ」の志願者は、「令和6年度共通テスト成績請求票（国公立推薦型選抜用）」が届き次第、出願書類送付先（P27）へ特定記録郵便で送付してください。（この場合の封筒は各自で用意してください。）
② 高等学校長若しくは中等教育学校長等の推薦書		本学所定の用紙（親展としてください。） 教育学部志願者は裏面の推薦理由書も記入してください。
③ 調 査 書		高等学校長若しくは中等教育学校長等が作成したもの（親展としてください。） 調査書の「学習成績概評」に㊸を標示した場合は、調査書の「備考」欄にその理由を必ず明示してください。（理由を明示していない場合は、㊸の扱いをしません。）工学部「推薦③」については、クラスの順位を調査書の「備考」欄に記入してください。また、過年度卒業生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。
④ 志 願 理 由 書		本学所定の用紙（工学部「推薦①」の機械工学コースのみ必要ありません。）
⑤ 検定・資格試験合格書、証明書等の写し	該当者のみ	人文学部「推薦A」「推薦B」、工学部「推薦③」志願者のみ提出してください。なお、工学部「推薦③」については、P18の推薦要件が「1. クラスの成績が上位5%程度以内の者」に該当する場合であっても、現有の資格・検定等（P18の推薦要件欄に記された(1)～(5)の資格等）について必ず提出してください。
⑥ 住 民 票 （マイナンバーの記載がないもの）		教育学部「地域推薦（三重県南部地域）（三重県全域）」を志願する者は志願者本人の住民票を提出してください。医学部医学科を志願する者で「地域枠A」の推薦要件（2）及び「地域枠B」に該当する場合のみ出願時において、出願予定者を現に扶養する者の住民票を提出してください。
⑦ 市町教育長推薦書		本学所定の用紙（親展としてください。）教育学部「地域推薦（三重県南部地域）」志願者のみ提出してください。
⑧ 競技成績等調書		教育学部「地域推薦（三重県南部地域）（三重県全域）」で保健体育コースを志願する者は、「競技成績等調書」「健康状態調査」（本学所定の様式）を調査書と併せて提出してください。「健康状態調査」は実技検査を安全に実施するために必要ですので、すべての項目について正確に記入してください。
健康状態調査		
⑨ 選択曲目等申告書		教育学部「地域推薦（三重県南部地域）（三重県全域）」で音楽教育コースを志願する者は、提出してください。なお、楽譜のコピー等についても併せて提出してください（「教育学部実技検査の課題又は範囲等」のページ参照）。
⑩ 教員志望確認書		本学指定の用紙（親展としてください。） 教育学部「推薦Ⅰ」「推薦Ⅱ」志願者のみ提出してください。
⑪ 市・町長推薦書 市・町長推薦書理由書 病院長推薦理由書		本学所定の用紙（親展としてください。） 医学部医学科の「地域枠B」志願者のみ提出してください。
⑫ 推薦書添付資料		本学所定の用紙（親展としてください。） 医学部志願者のみ提出してください。
⑬ 所 信 書		本学所定の用紙 医学部医学科志願者のみ提出してください。
⑭ 誓 約 書		医学部医学科「地域枠A」「地域枠B」志願者は提出してください。
⑮ 同 意 書 及 び 本 人 確 認 書 類		医学部医学科「地域枠A」「地域枠B」志願者は提出してください。

注意事項

- ① 出願書類の様式は、下記本学ウェブサイトよりダウンロードして下さい。
(<https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/guidelines/index.html>) 入試情報「学生募集要項」
(学生募集要項とともに、添付書類に掲載しています。)
- ② 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願書類に記入もれ等不備がある場合には、受理できませんので注意してください。
- ④ 出願書類の記載にあたり、指定がない場合に限り、パソコン等による印字も可とします。
- ⑤ いったん受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。

(10) 提出が必要な書類等の提出先及び提出方法

① 提出封筒の準備

- (ア) 必ず、角形2号封筒(横24cm×縦33.2cmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒)を使用してください。長形3号封筒(横12cm×縦23.5cm)等は使用できません。
- (イ) 出願登録完了後、再度インターネット出願サイトにログインし、出願状況確認画面から、「出願確認票」と「封筒貼付用ラベル」を印刷して、「封筒貼付用ラベル」を(ア)の封筒の表(宛名)面に貼付してください。

② 提出が必要な出願書類等の封入

26, 27 ページ(9)提出が必要な出願書類等を確認し、封入してください。

③ 書留速達郵便で送付

推薦を行う高等学校若しくは中等教育学校等の長は、②で準備が整った必要書類等について、出願期間内に書留速達により下記の住所まで郵送してください。なお、1学校において志願者が複数の場合は、志願者別に指定のラベルを張り付けた封筒に入れていただき、学校でとりまとめの上送付してください。(P21も参照して下さい。)

(11) 出願上の注意事項

本学を含めた国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含む)へ出願することができるのは、1つの大学・学部に限られます。

ただし、同一の学科で大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜の合格発表後に大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜を実施する場合については、前者の選抜を不合格となった者が后者の選抜へ出願することが認められる場合があります。詳細は「6. 志願のしかた」の各学部のページをご確認ください。

提出先・お問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学学務部入試チーム

電話：059-231-9063

平日 8:30～17:15/土日祝・年末年始除く

メール：nyusiteam@ab.mie-u.ac.jp

5. 受験票について

インターネット出願により登録した内容と、本学に届いた出願書類の内容が確認されると、本学からメールが届き、受験票の印刷が可能になります。再度インターネット出願サイトにアクセスし、受験票を白色のA4用紙で印刷し、内容を熟読の上、試験当日必ず持参してください。本学からの受験票の交付（郵送）はありません。

受験票を印刷したら、受験者氏名等が出願した内容と相違ないか確認してください。

万一、記載内容に誤りがある、又は出願手続きをしたが選抜期日1週間前※となっても受験票が印刷できない場合には、三重大学学務部入試チーム（電話：059-231-9063）まで連絡してください。

※ただし、人文学部学校推薦型選抜【推薦A・B】については、受験票が印刷可能となるのは選抜期日の3日前からです。

6. 志願のしかた

◎ 人文学部

文化学科については、「推薦C」のみの実施となります。

法律経済学科については、「推薦A」、「推薦B」及び「推薦C」から1つを選び出願してください。ただし、「推薦A」又は「推薦B」に出願し不合格となった者は、「推薦C」に出願することができます。この場合、改めて出願手続を行うとともに事前に令和6年度大学入学共通テストの受験を必要とするので注意してください。

◎ 教育学部

【推薦I・II】

技術・ものづくり教育コース、家政教育コース、学校教育コース（教育学専攻）、学校教育コース（教育心理学専攻）から1つを選び出願してください。

【地域推薦（三重県南部地域）】

- (1) 国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育の各コースの初等教育選修及び学校教育コース（教育学専攻、教育心理学専攻のいずれか）の中から、いずれか1つのコース又は2つのコースを選び出願してください。なお、数学教育コースに出願する場合は、数Ⅲを履修していることが望まれます。
- (2) 音楽教育、美術教育、保健体育の各コースの初等教育選修を志望する場合は第1志望のコースのみを選び出願してください。

【地域推薦（三重県全域）】

国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，音楽教育，美術教育，保健体育，技術・ものづくり教育，家政教育，英語教育の各コースの初等教育選修，特別支援教育コース，幼児教育コース及び学校教育コース（教育学専攻，教育心理学専攻のいずれか）の中から，1つを選び出願してください。なお，数学教育コースに出願する場合は，数Ⅲを履修していることが望まれます。

なお，推薦Ⅰ，推薦Ⅱ及び地域推薦は重複して出願することはできません。

◎ 医 学 部

医学科，看護学科のいずれかの学科から1つを選び出願してください。

◎ 工 学 部

機械工学コースを志望する場合，「推薦①」及び「推薦②」から1つを選び出願してください。

電気電子工学コースを志望する場合，「推薦①」及び「推薦③」から1つを選び出願してください。

応用化学コースを志望する場合，「推薦①」に出願してください。

ただし，「推薦①」又は「推薦③」に出願し，不合格となった者は，「推薦②」に出願することができます。この場合，改めて出願手続を行うとともに，事前に令和6年度大学入学共通テストの受験を必要とするので注意してください。

◎ 生物資源学部

【推薦Ⅰ】

農業，水産，工業に関する学科及び総合学科（農業，水産，工業に関する教科・科目を20単位以上修得した者又は見込みの者）から志願される方は，下記の内容を必ず確認し，出願してください。

(1) 農林環境科学コースを志望される方

本学所定の「三重大学学校推薦型選抜志願理由書」の志望コース欄に，「農林環境科学コース」と書き，志望専修欄に3専修（農学専修，森林科学専修，農業工学専修）から1つを選んで記入してください。

(2) 海洋生物資源学コースを志望される方

本学所定の「三重大学学校推薦型選抜志願理由書」の志望コース欄に，「海洋生物資源学コース」と書き，志望専修欄に「海洋生物資源学専修」と記入してください。

(3) 生命化学コースを志望される方

本学所定の「三重大学学校推薦型選抜志願理由書」の志望コース欄に，「生命化学コース」と書き，志望専修欄に2専修（生命機能化学専修，海洋生命化学専修）から1つを選んで記入してください。

【推薦Ⅱ】

普通科、理数に関する学科、国際関係に関する学科、その他普通科に準ずると認められる学科から志願される方は、下記の内容を必ず確認し、出願してください。

本学所定の「三重大学学校推薦型選抜志願理由書」の志望コース欄に、4コース（生物資源総合科学コース、農林環境科学コース、海洋生物資源学コース、生命化学コース）の中から、1つ選んで記入してください。

※生物資源学部の各コース・各専修の詳細については、本学ウェブサイト「入試情報」に学生募集要項とともに掲載されている添付書類「生物資源学部概要」を確認してください。

7. 選 抜 方 法

◎ 大学入学共通テストを課さない（人文学部、教育学部、工学部、生物資源学部）

学部・学科等		区分	選抜期日	選抜方法	配点									
人文学部	法律経済学科	推薦A・推薦B	令和5年 11月18日(土)	調査書、推薦書、志願理由書、課題作文及び面接の結果を総合して行います。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科等</th> <th>時 間</th> <th>試験場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>課題作文</td> <td>10:00～11:30</td> <td rowspan="2">人文学部</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>13:00～</td> </tr> </tbody> </table> 課題作文は、広く社会の関心を集める比較的最近の時事問題についての課題文をもとに、論理的思考力と表現力をはかるための作文を課します。 （解答字数は800～1,000字程度とします。）	教科等	時 間	試験場	課題作文	10:00～11:30	人文学部	面接	13:00～	課題作文	100
					教科等	時 間	試験場							
					課題作文	10:00～11:30	人文学部							
面接	13:00～													
調査書、推薦書、志願理由書及び面接	200													
計	300													
教育学部	学校教育コース	推薦I	令和5年 11月25日(土)	小論文、調査書、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。 教員志望確認書は総合評価として利用します。	小論文	100								
					調査書、推薦書、志願理由書及び面接	100								
					計	200								
	学校教育コース (教育学専攻)	11月26日(日) 志願者多数の場合のみ	小論文、調査書、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。 教員志望確認書は総合評価として利用します。	小論文	100									
				調査書、推薦書、志願理由書及び面接	100									
				計	200									
	学校教育コース (教育心理学専攻)	小論文、調査書、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。 教員志望確認書は総合評価として利用します。	小論文	100										
			調査書、推薦書、志願理由書及び面接	100										
			計	200										

学部・学科等		区分	選抜期日	選抜方法	配点		
工学部	総合工学科	機械工学コース	推薦① 令和5年 11月25日(土) 11月26日(日) 志願者多数の場合のみ	小論文, 調査書, 推薦書及び面接の結果を総合して行います。 面接においては, 機械工学に対する適性を問うと共に, 英語・数学・物理にかかわる学力を問います。	小論文	50	
		電気電子工学コース			調査書, 推薦書及び面接	150	
					計	200	
				筆記試験	400		
		応用化学コース		推薦②	調査書, 推薦書, 志願理由書, 面接及び筆記試験(物理及び数学)の結果を総合して行います。	調査書, 推薦書, 志願理由書及び面接	200
						計	600
	小論文		150				
	調査書, 推薦書, 志願理由書, 基本的な化学の実験及び面接の結果を総合して行います。		250				
	電気電子工学コース	推薦③	令和5年 11月25日(土)	書類審査(調査書), 資格試験の点数化及び面接の結果を総合的・多面的に判定して合格者を決定します。	書類審査	100	
					資格試験	400	
面接					100		
計					600		
生物資源学部	生物資源学科	農林環境科学コース	令和5年 11月25日(土) 11月26日(日) 志願者多数の場合のみ	小論文, 面接及び出願書類の内容を総合して可否を判定します。 なお, 専修単位で選考を行います。	小論文	100	
		海洋生物資源学コース			面接及び出願書類	100	
		生命化学コース					
		計			200		

◎ 大学入学共通テストを課す（全学部）

学部・学科等		区分	選抜期日	選抜方法			
人文学部	文化学科 法律経済学科	推薦 C	令和6年 2月6日(火)	<p>【第1次選考】</p> <p>令和6年度大学入学共通テストの成績に基づいて、募集人員の2倍程度の合格者を決定します。</p> <p>大学入学共通テストの利用教科・科目名及び配点は38～42ページのとおりです。</p> <p>第1次選考の結果については、選考結果を高等学校若しくは中等教育学校長及び志願者に郵送（速達）にて通知します。</p> <p>また、本学ウェブサイト及びスマホ・携帯電話サイトに「第1次選考合格者受験番号一覧表」を掲載します。</p>			
			令和6年 2月9日(金)	<p>【第2次選考】</p> <p>第1次選考に合格した者に対して、調査書、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。</p> <table border="1" data-bbox="774 1008 1289 1108"> <thead> <tr> <th>教科等</th> <th>時間</th> <th>試験場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面接</td> <td>13:00～</td> <td>人文学部</td> </tr> </tbody> </table> <p>配点は40ページのとおりです。</p>	教科等	時間	試験場
教科等	時間	試験場					
面接	13:00～	人文学部					

学部・学科等		区分	選抜期日	選抜方法
教育 学部	家政教育コース	推薦 Ⅱ	令和6年 2月6日(火) (第1次選考 結果通知日)	【第1次選考】 令和6年度大学入学共通テストの成績に基づいて合格者を決定し、調査書、推薦書及び志願理由書は合否判定の参考とします。 大学入学共通テストの利用教科・科目名及び配点は38～42ページのとおりです。 第1次選考の結果については、選考結果を高等学校若しくは中等教育学校長等及び志願者に郵送（速達）にて通知します。 また、本学ウェブサイト及びスマホ・携帯電話サイトに「第1次選考合格者受験番号一覧表」を掲載します。
			令和6年 2月11日(日)	【第2次選考】 第1次選考に合格した者に対して、調査書、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。教員志望確認書は総合評価として利用します。 配点は40ページのとおりです。
	国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，音楽教育，美術教育，保健体育，技術・ものづくり教育，家政教育，英語教育の各コース（初等教育選修），学校教育コース（教育学専攻，教育心理学専攻）	地域推薦 (三重県南部地域)	令和6年 2月11日(日)	令和6年度大学入学共通テストの成績，面接，出願書類及び小論文又は実技に基づいて選抜します。 国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，技術・ものづくり教育，家政教育，英語教育，学校教育の各コースは小論文及び面接を課し，音楽教育，美術教育，保健体育の各コースは実技及び面接を課します。 なお，小論文及び実技については総合評価とします。 大学入学共通テストの利用教科・科目名及び配点は38～42ページのとおりです。
	国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，音楽教育，美術教育，保健体育，技術・ものづくり教育，家政教育，英語教育の各コース（初等教育選修），特別支援教育コース，幼児教育コース，学校教育コース（教育学専攻，教育心理学専攻）	地域推薦 (三重県全域)	※実施の場合 令和6年 2月6日(火) (第1次選考 結果通知日)	※志願者数が10名程度を超えたコースのみ，2段階選抜を実施します。2段階選抜実施状況は三重大学ウェブサイトの「入試情報」に掲載します。 【第1次選考】（実施の場合） 令和6年度大学共通テストの成績によって選抜します。 大学入学共通テストの利用教科・科目名及び配点は38～42ページのとおりです。
			令和6年 2月11日(日)	【第2次選考】 令和6年度大学入学共通テストの成績，面接，出願書類及び小論文又は実技に基づいて選抜します。 国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，技術・ものづくり教育，家政教育，英語教育，特別支援教育，幼児教育，学校教育の各コースは小論文及び面接を課し，音楽教育，美術教育，保健体育の各コースは実技及び面接を課します。 なお，小論文及び実技については総合評価とします。 大学入学共通テストの利用教科・科目名及び配点は38～42ページのとおりです。

教育学部実技検査の課題又は範囲等

※音楽教育コース、美術教育コース、保健体育コースの実技検査において、地域推薦（三重県南部地域）と地域推薦（三重県全域）では同じ課題を出します。

【音楽教育コース】

音楽に関する以下の技能を審査し、総合点により評価します。下記のⅠ、Ⅱ、Ⅲを必ず受験してください。出願書類提出後の曲目等の変更は認めません。なお、Ⅲで選択した内容は入学後の専攻分野を決定するものではありません。また、卒業研究は声楽・器楽（ピアノ）・作曲・音楽教育の中からの選択になります。

Ⅰ 新曲視唱

臨時記号を含む8小節程度の新曲視唱を1曲課します。予見は1分間です。予見終了後、ピアノで主和音と開始音を鳴らします。難易度等は以下の楽譜を参考にしてください。唱法は問いません。



Ⅱ 実技・共通

次の①と②の両方を受験してください。

①声 楽

次の a. ～g. の中から任意の1曲を1番の歌詞のみ歌唱してください。歌唱は暗譜でなくてもかまいませんが、その場合は各自が楽譜を用意してください。なお、歌唱にあたって調性は自由とします。

- a. 赤とんぼ（山田耕筰 作曲）
- b. 荒城の月（滝廉太郎 作曲）
- c. 早春賦（中田章 作曲）
- d. 夏の思い出（中田喜直 作曲）
- e. 花（滝廉太郎 作曲）
- f. 花の街（團伊玖磨 作曲）
- g. 浜辺の歌（成田為三 作曲）

「注」

- (1) 試験当日のピアノ伴奏者は大学で用意します。
- (2) 選択した作曲者名、曲名、調性を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入のうえ出願確認票とともに提出してください。
- (3) 原調・移調に関わらず受験曲のピアノ伴奏譜を1ページの大きさA4判にコピーし、見開きになるように横一連に貼り付け、出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。

②ピアノ

J. S. バッハ作曲「二声のインヴェンション」の中から任意の1曲を演奏してください。演奏は暗譜でなくてもかまいませんが、その場合は各自が楽譜を用意してください。反復記号がある場合は省略して演奏してください。

「注」

- (1) 選曲した曲の曲名(番号)、調性を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入のうえ出願確認票とともに提出してください。

Ⅲ 実技・選択

「声楽」または「ピアノ」または「鍵盤楽器以外の器楽」により、5分以内の任意の1曲(自作曲も含む)を暗譜で演奏してください。弾き歌い・弾き語りも含まれます。いずれも反復記号がある場合は省略して演奏してください。「声楽」または「ピアノ」で受験する場合は、Ⅱで選択した楽曲以外の作品を演奏してください。なお、「鍵盤楽器以外の器楽」で受験する場合は、楽器の範囲を次のとおりとします。

フルート、オーボエ、クラリネット、(種類は問わない)、サクソフォン(種類は問わない)、バスーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、スネアドラム、マリンバ(ハ〜4点ハの4オクターブ)、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス、リコーダー(種類は問わない)、アコースティックギター(種類は問わない)、三味線、尺八、鼓。

上記に該当しない楽器で受験を希望する場合は学務部入試チームに問い合わせてください。

「注」

- (1) 各自が選択した実技の内容(「鍵盤楽器以外の器楽」を選択した場合は楽器名)、曲名などの必要事項を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入のうえ出願確認票とともに提出してください。なお、「鍵盤楽器以外の器楽」で受験する場合は、伴奏がある曲を選択しても試験では伴奏をつけずに審査します。
- (2) 演奏する楽譜(声楽の場合はピアノ伴奏譜)を1ページの大きさA4判にコピーし、見開きになるように横一連に貼り付け、出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。
- (3) 演奏時間が5分以上の曲を選択してもかまいません。その場合は、演奏を途中で止めることがあります。採点には影響ありません。
- (4) 「鍵盤楽器以外の器楽」で受験する場合は、楽器は原則として持参してください。

【美術教育コース】

素描試験を実施します。

「注」

- ・ 描画用具を持参する必要はありません。

【保健体育コース】

走・跳・投などの基礎的体力、運動能力に関する下記の実技検査

[50メートル走、ハンドボール投げ、懸垂腕屈伸(女子は斜懸垂腕屈伸)、反復横とび、垂直とび]

「注」

- (1) 屋内・屋外で運動のできる用意をしてください。
- (2) スパイクシューズ等の使用は認めません。
- (3) 50メートル走は天候により種目を変更する場合があります。
- (4) あらかじめ各自で傷害保険に加入してください。
- (5) あらかじめ各自で健康診断を受けてください。

学部・学科等		区分	選抜期日	選抜方法																
医学部	医学科 看護学科	—	令和6年 2月6日(火) (第1次選考 結果通知日)	<p>【第1次選考】</p> <p>令和6年度大学入学共通テストの成績に基づいて、募集人員の医学科は2倍程度、看護学科は1.5倍程度までの合格者を決定します。</p> <p>大学入学共通テストの利用教科・科目名及び配点は38～42ページのとおりです。</p> <p>第1次選考の結果については、選考結果を高等学校長若しくは中等教育学校長及び志願者に郵送(速達)にて通知します。医学科地域枠B志願者については、市・町長、病院長にも通知します。</p> <p>また、本学ウェブサイト及びスマホ・携帯電話サイトに「第1次選考合格者受験番号一覧表」を掲載します。</p>																
			<p>【医学科】</p> <p>令和6年 2月9日(金), 10日(土)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>教科等</th> <th>時間</th> <th>試験場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年2月9日(金)</td> <td>小論文 面接</td> <td>9時50分～11時20分 12時10分～</td> <td rowspan="2">医学部</td> </tr> <tr> <td>令和6年2月10日(土)</td> <td>面接</td> <td>9時30分～</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域枠A志願者は、一般枠においても選考の対象となります。</p> <p>大学入学共通テストの成績は、第1次選考のみで利用し、第2次選考には利用しません。</p> <p>配点は41ページのとおりです。</p>	期日	教科等	時間	試験場	令和6年2月9日(金)	小論文 面接	9時50分～11時20分 12時10分～	医学部	令和6年2月10日(土)	面接	9時30分～	<p>【看護学科】</p> <p>令和6年 2月9日(金)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>教科等</th> <th>時間</th> <th>試験場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年2月9日(金)</td> <td>面接</td> <td>9時30分～</td> <td>医学部 看護学科</td> </tr> </tbody> </table> <p>大学入学共通テストの成績は、第1次選考で利用し、第2次選考(面接)の評価には利用しません。</p> <p>配点は41ページのとおりです。</p>	期日	教科等	時間	試験場	令和6年2月9日(金)
期日	教科等	時間	試験場																	
令和6年2月9日(金)	小論文 面接	9時50分～11時20分 12時10分～	医学部																	
令和6年2月10日(土)	面接	9時30分～																		
期日	教科等	時間	試験場																	
令和6年2月9日(金)	面接	9時30分～	医学部 看護学科																	

学部・学科等			区分	選抜期日	選抜方法						
工学部	総合工学科	機械工学コース	推薦②	令和6年 2月6日(火) (第1次選考 結果通知日)	【第1次選考】 令和6年度大学入学共通テスト(3教科5科目)の成績に基づき、募集人員の2倍程度の合格者を決定します。 大学入学共通テストの利用教科・科目及び配点は38～42ページのとおりです。 第1次選考の結果については、選考結果を高等学校長若しくは中等教育学校長及び志願者に郵送(速達)にて通知します。また、本学ウェブサイト及びスマホ・携帯電話サイトに「第1次選考合格者受験番号一覧表」を掲載します。						
				令和6年 2月9日(金)	【第2次選考】 第1次選考合格者に対し、調査書、推薦書、志願理由書及び面接の結果と第1次選考の結果を総合的・多面的に判定します。面接の評価によっては、総得点の順位にかかわらず不合格となることがあります。 配点は41ページのとおりです。						
生物資源学部	生物資源学科	生物資源総合科学コース 農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	推薦Ⅱ	【面接】 令和5年 11月25日(土) (11月26日(日) 志願者多数の 場合のみ)	令和6年度大学入学共通テストの成績、面接及び出願書類の内容を総合して可否を判定します。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>教科等</th> <th>時間</th> <th>試験場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面接</td> <td>9:00～</td> <td>生物資源学部</td> </tr> </tbody> </table> *志願者は必ず、「令和6年度共通テスト成績請求票(国公立推薦型選抜用)」が届き次第、出願書類送付先(27ページ)へ特定記録郵便で送付してください。(この場合の封筒は各自で用意してください。)大学入学共通テストの利用教科・科目名及び配点は38～42ページのとおりです。	教科等	時間	試験場	面接	9:00～	生物資源学部
教科等	時間	試験場									
面接	9:00～	生物資源学部									

※ 第1次選考結果掲載アドレス及び掲載期間について

- ・本学ウェブサイト <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html> (「入試情報」)
- ・スマホ・携帯電話サイト <https://daigaku.jc.jp/mie-u/>
- ・掲載期間 令和6年2月6日(火)16時頃から2月9日(金)17時まで



第1次選考不合格者に対しては、入学検定料(17,000円)のうち13,000円を返還します。なお、返還には志願者本人による申し出が必要です。申し出の方法・期間等については、結果通知の際にお知らせします。(該当学部：人文学部，教育学部，医学部，工学部)

◎大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜に係る大学入学共通テストの利用教科・科目

学部・学科等		大学入学共通テストの利用教科・科目名	
人文学部	【推薦C】 文化学科	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は「物, 化, 生, 地学から1」 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]
	【推薦C】 法律経済学科	国 地歴 公民 理 数 外	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から4(基礎を付した科目を含む場合)又は 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } から3(基礎を付した科目を含まない場合) 『「物基, 化基, 生基, 地基から2」, 物, 化, 生, 地学』から1又は2 } 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]
学校教育 部 教 育 学 部 教 育 教 員 養 成 課 程	【推薦Ⅱ】 家政教育コース	国 地歴 公民 理 数 外	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は 「物, 化, 生, 地学から1」 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]
	【地域推薦（三重県南部地域）】 国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術・ものづくり教育, 家政教育, 英語教育の各コース(初等教育選修), 学校教育コース(教育学専攻, 教育心理学専攻)	国 地歴 公民 理 数 外	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は 「物, 化, 生, 地学から1」 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]
	【地域推薦（三重県全域）】 国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術・ものづくり教育, 家政教育, 英語教育の各コース(初等教育選修), 特別支援教育コース, 幼児教育コース, 学校教育コース(教育学専攻, 教育心理学専攻)	国 地歴 公民 理 数 外	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は 「物, 化, 生, 地学から1」 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]

学部・学科等		大学入学共通テストの利用教科・科目名	
医学部	医学科	国 地歴 公民 数理 理 外	国 世 B, 日 B, 地理 B 現社, 倫・政経 「数Ⅰ・数 A」と「数Ⅱ・数 B」 物, 化, 生から 2 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 } から 1 [5 教科 7 科目]
	看護学科	国 地歴 公民 数理 理 外	国 世 B, 日 B, 地理 B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数 A, 数Ⅱ・数 B から 1 「物基, 化基, 生基から 2」又は「物, 化, 生から 1」 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 } から 1 [5 教科 5 科目又は 5 教科 6 科目]
工学部	総合工学科 【推薦②】機械工学コース	数理 理 外	「数Ⅰ・数 A」と「数Ⅱ・数 B」 物と化 英 [3 教科 5 科目]
生物資源学部	生物資源学科 生物資源総合科学コース 農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	国 地歴 公民 数理 理 外	国 世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 「数Ⅰ・数 A」と「数Ⅱ, 数Ⅱ・数 B, 簿, 情報から 1」 物, 化, 生, 地学から 2 英 } から 1 [5 教科 7 科目]

◎ 配点

学部・学科等		選考の別	大学入学共通テスト						小論文	調査書, 推薦書, 志願理由書及び面接	実技	教員志望確認書	合計	
			国語	地歴	公民	理科	数学	外国語						
人文学部	【推薦C】 文化学科	第1次選考	200	*200 *100	*100	100	200	200					900	
		第2次選考								100			100	
	【推薦C】 法律経済学科	第1次選考	100	*40 *20	*20	*40 *20	40	200					400	
		第2次選考								100			100	
教育学部	【推薦II】 家政教育コース	第1次選考	100	*150(50×3)			100	100					450	
		第2次選考								100		#	100	
	【地域推薦 (三重県南部地域)】 国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 技術・ものづくり教育, 家政教育, 英語教育の各コース(初等教育選修), 学校教育コース(教育学専攻, 教育心理学専攻)	—		100	*150(50×3)			100	100	#	100			550
				100	*150(50×3)			100	100		100	#		550
			第1次選考	100	*150(50×3)			100	100					450
				100	*150(50×3)			100	100	#	100			550
	【地域推薦(三重県全域)】 国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 技術・ものづくり教育, 家政教育, 英語教育の各コース(初等教育選修), 特別支援教育コース, 幼児教育コース, 学校教育コース(教育学専攻, 教育心理学専攻)	第1次選考 (2段階選抜実施の場合のみ)		100	*150(50×3)			100	100					450
				100	*150(50×3)			100	100	#	100			550
			第1次選考	100	*150(50×3)			100	100					450
				100	*150(50×3)			100	100		100	#		550

学部・学科等			選考の別	大学入学共通テスト					小論文	調査書, 推薦書, 志願理由書及び面接	合計
				国語	地歴	公民	理科	数学			
医学部	医学科		第1次選考	100	*100		200	100	100		600
			第2次選考						150	300	450
	看護学科		第1次選考	100	*100		100	100	100		500
			第2次選考							100	100
工学部	総合工学科	【推薦②】 機械工学コース	第1次選考				150	200	150		500
			第2次選考				150	200	150	100	600
生物資源学部	生物資源学科	生物資源総合科学コース 農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	—	50	*50		200	200	200	300	1000

「注」小論文, 実技及び教員志望確認書の#は「総合評価」として実施します。

【教科・科目名の表記について】

大学入学共通テストの出題教科・科目名は, 次のように示しています。

○国語→国

「国語」→「国」

○地理歴史→地歴

「世界史A」→「世A」, 「世界史B」→「世B」, 「日本史A」→「日A」, 「日本史B」→「日B」,
「地理A」→「地理A」, 「地理B」→「地理B」

○公民→公民

「現代社会」→「現社」, 「倫理」→「倫」, 「政治・経済」→「政経」, 「倫理, 政治・経済」→
「倫・政経」

○数学→数

「数学I」→「数I」, 「数学I・数学A」→「数I・数A」, 「数学II」→「数II」, 「数学II・数学B」
→「数II・数B」, 「簿記・会計」→「簿」, 「情報関係基礎」→「情報」

○理科→理

「物理基礎」→「物基」, 「化学基礎」→「化基」, 「生物基礎」→「生基」, 「地学基礎」→「地基」,
「物理」→「物」, 「化学」→「化」, 「生物」→「生」, 「地学」→「地学」

○外国語→外

「英語」→「英」, 「ドイツ語」→「独」, 「フランス語」→「仏」, 「中国語」→「中」, 「韓国語」→
「韓」

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

(1～3は、各学部共通事項を示す。内①は人文学部、②は教育学部の該当事項を示す。)

1. 指定の教科・科目数を超えて受験した場合には、高得点の教科・科目の得点を採用します。

ただし、『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」(基礎を付していない科目)において複数科目を受験した場合は、『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」(基礎を付していない科目)それぞれの第1解答科目の得点を採用の対象とします。

「理科①」(基礎を付した科目)は、2科目を受験した場合のみ当該科目の成績として採用します。

「理科②」(基礎を付していない科目)において2科目受験した場合には第1解答科目の得点を採用の対象とします。

「理科」において基礎を付した科目から2科目と基礎を付していない科目から1科目受験した場合には高得点の科目(基礎を付した科目の場合は2科目の合計)の得点を採用の対象とします。

第2解答科目については、第1解答科目が採用された場合についてのみ当該科目の得点として採用の対象となる場合があります。

① 人文学部法律経済学科において、『「地理歴史」「公民」』及び「理科」から3科目を課す場合

『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目の得点を採用し、次に「理科①」の基礎を付した科目の得点の合計と基礎を付していない科目の第1解答科目の得点を比較し、高得点の科目の得点を採用します。その後、『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目の得点と、理科の採用されなかった科目の得点を比較し、高得点の科目の得点を採用します。

② 教育学部において、『「地理歴史」「公民」』から2科目、「理科②」(基礎を付していない科目)から2科目受験した場合

『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」(基礎を付していない科目)それぞれの第1解答科目を採用した後、第2解答科目は高得点の科目の得点を採用します。

2. 『「地理歴史」』及び「公民」』では同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。

人文学部法律経済学科において、「理科」から3科目(基礎を付した科目を含む場合)を選択する場合、同一名称を含む科目を選択することはできません。

3. 大学入学共通テストにおける「英語」はリスニングが必須となっていますので、リスニングを受験しなければ、本学への出願資格がなくなります。(受験上の配慮によりリスニングを免除された場合を除きます。)

また、「英語」の得点については、以下のとおり取り扱います。

(1) 大学入試センターから提供されたリーディングの成績(100点満点)を2倍して200点満点とし、リスニングの成績(100点満点)とを合わせて300点満点としてから、2/3を掛けて200点満点に換算します。

(2) (1)で換算した得点を、学部・学科・コースが定めた配点にさらに換算します。

(3) 「英語」以外の外国語(ドイツ語・フランス語・中国語、韓国語)は、大学入試センターから提供された成績(200点満点)を、学部・学科・コースが定めた配点に換算します。

なお、受験上の配慮事項によりリスニングを免除された者については、リーディングの成績(100点)を2倍して200点満点としてから各学部・学科等が定める配点に換算します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等】欄

1. 配点に、*印を付してある教科は選択教科を示します。

8. 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害等のある者に対しては、受験及び修学上の配慮が必要となる場合がありますので、出願に先立ち、必ず次により相談してください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

また、相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学に関してより良い方法やあり方を模索するためのもので、障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

事前相談の対象となる者【参考】

区 分	対象となる者
① 視覚障害	<ul style="list-style-type: none"> ・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度な者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴覚障害	<ul style="list-style-type: none"> ・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④ 病弱	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> ・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

「注」 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

(1) 申請方法

電話によりあらかじめ学務部入試チームに連絡した上で、本学ウェブサイトの「入試情報」の「障害等のある入学志願者の出願前相談申請について」より申請してください。

URL : <https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/disabled-person/>

また、参考として「医師の診断書(写)」、「障害者手帳(写)」、「大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書(写)」等をメールにて提出してください。

(2) 申請先

三重大学学務部入試チーム

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL: 059-231-9063

E-mail: nyusiteam@ab.mie-u.ac.jp

申請の時期

学部・区分		申請の時期
人文学部	推薦 A	令和5年10月2日(月)まで
	推薦 B	
教育学部	推薦 I	
工学部	推薦 ①	
	推薦 ③	
生物資源学部		令和5年11月13日(月)まで
教育学部	推薦 II	
	地域推薦(三重県南部地域) 地域推薦(三重県全域)	
医学部		令和5年12月15日(金)まで
人文学部	推薦 C	
工学部	推薦 ②	

[土・日・祝日を除く]

(3) 受験上の配慮の例

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・試験場への乗用車の入構・車椅子の使用・補聴器の使用・連絡事項の文書による伝達 | <ul style="list-style-type: none">・試験室を別室に設定・座席を最前列/最後列/出入口近く等に設定・試験室を障害者用トイレ近くに設定・試験時間の延長 |
|--|---|

三重大学の取組み

本学では、「三重大学における障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部および学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。詳細は以下のウェブページをご参照ください。

URL: <https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html>

9. 受験に際しての注意事項

- (1) 試験当日は、「本学受験票」を必ず携帯し、試験室では「本学受験票」を机の上に置いてください。携帯しない場合には、試験室へ入室することはできません。

なお、大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（生物資源学部を除く）を受験する場合は、それに加えて「令和6年度大学入学共通テスト受験票」も必ず携帯してください。

- (2) 不測の事態の発生により、当初の予定どおり試験を実施できなくなった場合は、本学ウェブサイト「入試情報」(<https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>)及びスマートフォン・携帯電話サイト(<https://daigaku.jp/mie-u/>)にてお知らせします。

- (3) 試験当日は、本学受験票に記載された集合時間までに指定された集合場所に到着して、当該試験場の掲示を熟読してください。

また、休憩時間及び試験終了後も掲示内容に注意してください。

- (4) 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分を経過した場合は当該試験及びその後の受験は認めません。

- (5) 試験開始から試験終了までは、試験室からの退室を認めません。試験中の体調不良又はトイレ等やむを得ない場合には、自席で挙手し監督者の指示に従ってください。

ただし、一時退室が認められた場合でも、試験室以外での受験はできません。また、一時退室した分の試験時間の延長も認めません。

- (6) 試験中は、机の上には、受験票、黒鉛筆（シャープペンシル可）、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフを除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬以外の所持品を置いてはいけません。なお、事情によっては、文字の書いていない下敷きの使用を認めることがあります。

- (7) 携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってください。

試験時間中は、携帯電話等の電子機器類はかばん等にしまう必要があります。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。

- (8) 質問等がある場合は、自席で挙手し監督者の指示に従ってください。

- (9) 本学試験場へは、試験当日、事前に許可された者以外の受験者は自動車での入構はできませんので、必ず公共の交通機関を利用してください。

なお、周辺地域への交通渋滞防止の観点から、自家用車による送迎はご遠慮願います。

また、周辺商業施設への無断駐車は絶対にしないでください。

また、「受験票」は、インターネット出願サイトにアクセスし、白色のA4用紙に印刷の上、試験当日必ず持参してください。

10. 不正行為の取扱いについて

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての試験の成績を無効とします。その他状況によっては警察に被害届を提出する場合があります。
- ① インターネット出願登録の際に虚偽の情報を入力したり、出願確認票に本人ではない写真を使用したり、解答用紙に虚偽の記入をすること。
 - ② カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
 - ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。
 - ④ 配付された問題冊子等を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑥ 解答開始の指示の前に、問題冊子等を開いたり解答を始めたりすること。
 - ⑦ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、及びICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - ⑧ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - ⑨ 解答終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。
- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(1)と同様です。
- ① 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類やコンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
 - ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような申し出をすること。
 - ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

11. 合格者の発表

下記の日時に、選考結果を高等学校長若しくは中等教育学校長等及び志願者に郵送にて通知します。ただし、人文学部「推薦C」、教育学部「推薦Ⅱ」、「地域推薦（三重県全域）」、医学部及び工学部「推薦②」に関しては、2段階選抜を実施しているため（「地域推薦（三重県全域）」については実施しない場合もある）、第2次選考の結果を高等学校長若しくは中等教育学校長等及び第1次選考に合格した志願者に郵送にて通知します。教育学部「地域推薦（三重県南部地域）」については、市・町教育長に、医学部医学科地域枠B志願者については、市・町長、病院長にも通知します。

また、本学ウェブサイト及びスマホ・携帯電話サイトに「合格者受験番号一覧表」を掲載します。
なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じられません。

本学ウェブサイト <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>（「入試情報」）
スマホ・携帯電話サイト <https://daigaku.jc.jp/mie-u/>



学部・区分		合格者の発表日時	
人文学部	推薦 A	令和5年12月15日(金)10時頃 掲載期間は、「令和5年12月15日(金)10時頃～12月28日(木)17時」です。	
	推薦 B		
教育学部	推薦 I		
工学部	推薦 ①		
	推薦 ③		
生物資源学部	推薦 I		
人文学部	推薦 C		令和6年2月13日(火)16時頃 掲載期間は、「令和6年2月13日(火)16時頃～2月19日(月)17時」です
教育学部	推薦 II		
	地域推薦(三重県南部地域) 地域推薦(三重県全域)		
医学部			
工学部	推薦 ②		
生物資源学部	推薦 II		

・学校推薦型選抜合格者への注意事項

- ① 次の「12.入学手続(1)」で示された入学手続期間内に入学手続を完了してください。
- ② 学校推薦型選抜の合格者は、次の③により許可された者を除き、国公立大学の個別学力検査を受験しても合格の対象とはなりません。
- ③ 特別な事情によって入学辞退の必要が生じた場合には、合格者の推薦を行った高等学校長若しくは中等教育学校長等から、令和6年2月19日(月)17時まで「学校推薦型選抜入学辞退願」(様式は任意)を本学へ提出(郵送の場合は、書留郵便(必着))し、その許可を得た場合に限り、入学辞退を認めます。この場合を除き、出願済の国公立大学を受験しても合格の対象とはなりません。
- ④ 学校推薦型選抜合格者は、入学又は入学辞退のいずれの手続きも行わないまま放置することがないように留意してください。
- ⑤ 教育学部【推薦 I】技術・ものづくり教育(中等教育選修)、生物資源学部【推薦 I】の合格者は、入学前教育を実施するので、別途案内します。

12. 入学手続

入学手続期間及び手続方法、入学手続に必要な書類等については以下のとおりです。

なお、入学手続の詳細については、後日学校推薦型選抜合格者に対して送付する「入学手続要項」により通知します。

(1) 入学手続期間及び手続方法

学部・区分		入学手続期間及び手続方法	
人文学部	推薦 A	【入学手続期間】 令和6年1月26日(金)～2月2日(金) (2月2日(金)17時まで)に本学必着 【手続方法】 合格者に対し、別途通知します。	
	推薦 B		
教育学部	推薦 I		
工学部	推薦 ①		
	推薦 ③		
生物資源学部	推薦 I		
人文学部	推薦 C		【入学手続期間】 令和6年2月14日(水)～2月19日(月) (2月19日(月)17時まで)に本学必着 【手続方法】 合格者に対し、別途通知します。
教育学部	推薦 II		
	地域推薦(三重県南部地域) 地域推薦(三重県全域)		
医学部			
工学部	推薦 ②		
生物資源学部	推薦 II		

(2) 入学手続に必要な書類等

- ① 入学料 282,000円 (※納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。)
- ② 令和6年度三重大学学校推薦型選抜受験票
- ③ 令和6年度大学入学共通テスト受験票(人文学部「推薦C」、教育学部「推薦II」、地域推薦(三重県南部地域)(三重県全域)、医学部、工学部「推薦②」、生物資源学部「推薦II」)
- ④ 提出書類(「三重大学入学手続きホームページ」及び「入学手続要項」を熟読してください。)

(3) その他必要となる諸経費について

- ① 授業料 前期分 267,900円(年額 535,800円)
(※在学中に授業料の改定を行った場合には、改定した新授業料が適用されます。)
- ② その他諸経費
 - (a) 個人用ノートパソコン
三重大学では個人用ノートパソコン必携化の制度が導入されています。入学の際にはノートパソコンをご準備いただく必要がございますので、あらかじめご了承ください。
ノートパソコンの性能要件や必要な初期設定など、詳細は学部や学科等により異なりますので、入学手続きの際にご確認ください。
 - (b) 学生保険
本学が指定する保険に加入していただきます。実習など授業形態が異なるため、保険の内容及び金額については、学部や学科等により異なります。

(c) 教科書代等

授業に必要な費用が生じることがあります。

(d) 同窓会費等

入会は任意です。また、入学する学部や学科等によって内容や金額は異なります。詳細は入学手続きの際にご確認ください。

上記の諸経費以外にも学部や学科等によりその他の費用が発生する場合があります。詳細は入学手続きの際にご確認ください。

13. 学校推薦型選抜に不合格となった者の取扱い

国公立大学の一般選抜に出願することができます。

この場合には、当該国公立大学が指定した令和6年度大学入学者選抜大学入学共通テスト等を受験の上、改めて出願手続きをすることが必要です。

14. 受験時の宿泊案内

本学の受験に際し宿泊を必要とする方は、各自で旅館等を予約してください。

なお、下記の機関を利用して予約することもできます。

津市ホテル旅館料理組合

〒514-0035 津市西丸之内1-1

ウェブサイト <https://www.e-tsu.net/>

TEL : 059-228-9029

FAX : 059-228-9029

15. 学校推薦型選抜実施状況

過去5年間の学校推薦型選抜（推薦入試）実施状況 [志願者数・受験者数・合格者数・入学者数] については、本学ウェブサイト「入試情報」の「入試データ」にて掲載しています。

URL : <https://www.mie-u.ac.jp/exam/data/recommend/>



16. 学校推薦型選抜情報について

1. 採点・評価基準

人文学部	推薦A・推薦B	法律経済学科	出願書類	推薦書，調査書，志願理由書などを総合的に検討します。		
			課題作文	現代社会における諸問題に対して論理的な思考を行う能力，その内容を文章で表現する能力を評価します。		
			面接	志願理由書と関連した質疑を行い勉学への意欲やコミュニケーション能力を評価します。		
	推薦C	文化学科	出願書類	推薦書，調査書，志願理由書などを総合的に検討します。		
			面接	志願理由書と関連した質疑を行い勉学への意欲やコミュニケーション能力を評価します。		
		法律経済学科	出願書類	推薦書，調査書，志願理由書などを総合的に検討します。		
教育学部	推薦I	学校教育教員養成課程 技術・ものづくり 教育コース	出願書類	推薦書，調査書，志願理由書，教員志望確認書などを総合的に検討します。		
			小論文	技術・工業に関連する課題について論述させ，技術・工業に関する知識と，技術・工業教育及び教職に対する意欲，さらには，論理的な思考力と表現力を評価します。		
			面接	数学，理科，技術・工業に関する知識と，技術・工業教育に対する関心や熱意などについて，志願理由書などに関連した質疑などを通じて評価します。		
		学校教育教員養成課程 学校教育コース (教育学専攻)	出願書類	推薦書，調査書，志願理由書，教員志望確認書などを総合的に検討します。		
			小論文	独創性を重視し，理解する力，考察する力，論理的な思考力や構成力，記述する力などを評価します。		
			面接	教育学の知見をベースとした学校教育の理念・制度・組織・方法に関する興味の広さと発展性，考える力などを評価します。		
		学校教育教員養成課程 学校教育コース (教育心理学専攻)	出願書類	推薦書，調査書，志願理由書，教員志望確認書などを総合的に検討します。		
			小論文	独創性を重視し，理解する力，考察する力，論理的な思考力や構成力，記述する力などを評価します。		
			面接	教育心理学の知見をベースとした学校教育場面での発達・学習・対人支援に関する興味の広さと発展性，考える力などを評価します。		
	推薦II	学校教育教員養成課程 家政教育コース	出願書類	推薦書，調査書，志願理由書，教員志望確認書などを総合的に検討します。		
			面接	1. 家政教育で扱われる内容への科学的・社会的・文化的関心度を評価します。 2. 志願理由，学習意欲，理解力，考察力，表現力などを評価します。		
	地域推薦(三重県南部地域)	学校教育教員養成課程 国語教育，社会科教育， 数学教育，理科教育，音楽教育，美術教育，保健体育，技術・ものづくり教育，家政教育，英語教育の各コース(初等教育選修)，学校教育コース(教育学専攻，教育心理学専攻)	出願書類	推薦書，調査書，志願理由書などを総合的に検討します。		
			面接	三重県南部地域の小学校教育に高い関心を持ち，地域の学校教育に関わる強い意欲，人間関係形成能力・コミュニケーション能力等の将来教員となるにふさわしい資質，学習意欲，一般常識，自己表現力などを兼ね備えているかどうかを評価します。		
			小論文	へき地・小規模校教育及び三重県南部地域に関するテーマに対する理解力，考察力，論理的思考力，構成力，表現力などを評価します。		
			実技(音楽)	演奏の習熟度を音楽性，技術，楽曲理解の面から評価します。		
			実技(美術)	美術教育に必要とされる造形的基礎力を評価します。		
			実技(保健体育)	基礎的な体力・運動能力を評価します。		
			地域推薦(三重県全域)	学校教育教員養成課程 国語教育，社会科教育， 数学教育，理科教育，音楽教育，美術教育，保健体育，技術・ものづくり教育，家政教育，英語教育の各コース(初等教育選修)，特別支援教育コース，幼児教育コース，学校教育コース(教育学専攻，教育心理学専攻)	出願書類	推薦書，調査書，志願理由書などを総合的に検討します。
					面接	三重県の教育に高い関心を持ち，地域の学校教育に関わる強い意欲，人間関係形成能力・コミュニケーション能力等の将来教員または保育士となるにふさわしい資質，学習意欲，一般常識，自己表現力などを兼ね備えているかどうかを評価します。
					小論文	三重県の教育に関するテーマに対する理解力，考察力，論理的思考力，構成力，表現力などを評価します。
					実技(音楽)	演奏の習熟度を音楽性，技術，楽曲理解の面から評価します。
	実技(美術)	美術教育に必要とされる造形的基礎力を評価します。				
	実技(保健体育)	基礎的な体力・運動能力を評価します。				

医学部	医学科	小論文	1. 医学, 医療, 科学, 社会などに対する関心度を評価します。 2. 理解度, 考察力, 記述力, 論理性などを総合的に評価します。	
		面接	1. 志願理由, 学習意欲, 理解力, 表現力, 論理性などを評価します。 2. 医学, 医療, 科学, 社会などに対する関心度を評価します。 3. 三重県の医療に対する関心度を評価します。	
	看護学科	面接	1. 志願理由, 学習意欲, 探究心, 理解力, 表現力, 協調性, 論理性などを評価します。 2. 人間, 健康, 社会, 保健・医療・福祉, 看護, 社会貢献に対する関心度を評価します。	
工学部 総合工学科	推薦①	機械工学コース	出願書類	調査書, 推薦書を総合的に評価します。
			面接	機械工学に対する適性と, 英語, 数学, 物理の学力で評価します。
			小論文	機械工学に関する課題について論述させ, 洞察力, 理論構成力, 表現力などを総合的に評価します。
		電気電子工学コース	出願書類	調査書, 推薦書, 志願理由書などを総合的に評価します。
			面接	志願理由書に関連した質疑などを通し, 学習意欲, 基礎的知識, 自己表現力などを評価します。
			筆記試験	電気電子工学の基礎となる物理・数学の理解力を評価します。
	応用化学コース	出願書類	調査書, 推薦書などを総合的に検討します。	
		面接	志願理由, 学習意欲, コミュニケーション能力, 化学に対する関心や熱意などを評価します。また, 基本的な化学の実験能力も併せて評価します。	
		小論文	科学への関心と化学の知識, 論理的思考, 記述力などを総合的に評価します。	
	推薦②	機械工学コース	出願書類	調査書, 推薦書, 志願理由書などを総合的に評価します。
			面接	機械工学に対する関心, 熱意, 学習意欲や適性などを評価します。
	推薦③	電気電子工学コース	出願書類	調査書, 推薦書, 志願理由書など(資格試験等の点数化を含む)を総合的に評価します。
面接			電気電子工学の基礎, 学習意欲, 自己表現力などを評価します。	
生物資源学部	推薦Ⅰ	農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	出願書類	推薦書, 調査書, 志願理由書などを総合的に検討します。
			小論文	1. 理解度, 考察力, 論理的思考力, 記述力を評価します。 2. 基礎的知識を評価します。
		面接	志願理由書に関連した質疑などを通じ, 学習意欲, 基礎的知識, 自己表現力などを評価します。	
生物資源学科	推薦Ⅱ	生物資源総合科学コース 農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	出願書類	推薦書, 調査書, 志願理由書などを総合的に検討します。
			面接	志願理由書に関連した質疑などを通じ, コースへの理解, 学習意欲, 自己表現力, 理解力, 適性などを評価します。

2. 合否判定基準

人文学部	推薦A 推薦B	法律経済学科	出願書類の内容，課題作文及び面接の結果を総合的に判定します。
	推薦C	文化学科	[第1次選考] 令和6年度大学入学共通テストの成績で合否を判定します。 同点者は同順位とします。
		法律経済学科	[第2次選考] 第1次選考に合格した者について調査書，推薦書，志願理由書及び面接の結果を総合して行います。
教育学部	推薦I	学校教育教員養成課程 技術・ものづくり 教育コース	出願書類の内容，小論文及び面接の結果を総合的に判定します。 教員志望確認書の評価によっては，総合得点の順位に関わらず不合格とすることがあります。
		学校教育教員養成課程 学校教育コース (教育学専攻)	出願書類の内容，小論文及び面接の結果を総合的に判定します。 教員志望確認書の評価によっては，総合得点の順位に関わらず不合格とすることがあります。
		学校教育教員養成課程 学校教育コース (教育心理学専攻)	出願書類の内容，小論文及び面接の結果を総合的に判定します。 教員志望確認書の評価によっては，総合得点の順位に関わらず不合格とすることがあります。
	推薦II	学校教育教員養成課程 家政教育コース	[第1次選考] 令和6年度大学入学共通テストの成績で合否を判定します。 同点者は同順位とします。調査書，推薦書及び志願理由書は，合否判定の参考とします。 [第2次選考] 第1次選考に合格した者について調査書，推薦書，志願理由書及び面接の結果を総合して行います。 教員志望確認書は総合評価として利用します。なお，教員志望確認書の評価によっては，総合得点の順位に関わらず不合格とすることがあります。
	地域推薦 (三重県 南部地域)	学校教育教員養成課程 国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，音楽教育，美術教育，保健体育，技術・ものづくり教育，家政教育，英語教育の各コース（初等教育選修），学校教育コース（教育学専攻，教育心理学専攻）	令和6年度大学入学共通テストの成績及び面接の得点の合計で合否を判定します。 総合得点の高いものから，志望順に合否を判定します。同点者は同順位とします。 調査書，推薦書及び志願理由書などの出願書類は合否判定の参考とします。 小論文及び実技の評価によっては，合計点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
	地域推薦 (三重県 全域)	学校教育教員養成課程 国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，音楽教育，美術教育，保健体育，技術・ものづくり教育，家政教育，英語教育の各コース（初等教育選修），特別支援教育コース，幼児教育コース，学校教育コース（教育学専攻，教育心理学専攻）	令和6年度大学入学共通テストの成績及び面接の得点の合計で合否を判定します。 総合得点の高いものから，志望コース別に合否を判定します。 調査書，推薦書及び志願理由書などの出願書類は合否判定の参考とします。 小論文及び実技の評価によっては，合計点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。 なお，志願者数が10名程度を超えたコースのみ，2段階選抜を実施します。 第1次選考は大学入学共通テストの成績により行います。

医学部	医学科		<p>[第1次選考] 令和6年度大学入学共通テストの成績で合否を判定します。 同点者は同順位とします。調査書、推薦書、志願理由書及び所信書は、合否判定の参考とします。</p> <p>[第2次選考] 小論文及び面接の合計点で合否を判定します。 同点者は同順位とします。調査書、推薦書、志願理由書及び所信書は、面接の参考資料とします。</p>
	看護学科		<p>[第1次選考] 令和6年度大学入学共通テストの成績で合否を判定します。 同点者は同順位とします。調査書、推薦書及び志願理由書は、合否判定の参考とします。</p> <p>[第2次選考] 面接評価点数にて合否を判定します。 同点者は同順位とします。調査書、推薦書及び志願理由書は、面接の参考資料とします。</p>
工学部	推薦①	機械工学コース	出願書類、小論文及び面接（英語・数学・物理の学力検査を含む）の結果を総合して合否を判定します。
		電気電子工学コース	出願書類、筆記試験（物理及び数学）及び面接の結果を総合して合否を判定します。
		応用化学コース	出願書類、小論文、基本的な化学の実験及び面接の結果を総合して合否を判定します。
総合工学科	推薦②	機械工学コース	<p>[第1次選考] 令和6年度大学入学共通テストの成績で合否を判定します。 同点者は同順位とします。調査書、推薦書及び志願理由書は、合否判定の参考とします。</p> <p>[第2次選考] 面接評価点数及び令和6年度大学入学共通テストの成績で合否を判定します。 同点者は同順位とします。調査書、推薦書及び志願理由書は、面接の参考資料とします。</p>
	推薦③	電気電子工学コース	出願書類及び面接の結果を総合して合否を判定します。
生物資源学部	推薦Ⅰ	農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	小論文、面接及び出願書類の内容を総合して合否を判定します。
生物資源学部	推薦Ⅱ	生物資源総合科学コース 農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	令和6年度大学入学共通テストの成績、面接及び出願書類の内容を総合して合否を判定します。

3. 入試成績の開示について

人文学部，教育学部，医学部看護学科，工学部及び生物資源学部において，本人からの申請に基づき，下記「開示内容」のとおり入試成績を開示します。

(1) 開示内容

開示項目	開 示 内 容
入学試験 個人成績	<p>【大学入学共通テストを課さない場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科科目（小論文，課題作文，面接等）ごとの得点と合計点並びに順位（注）を開示します。 <p>（注）順位</p> <p>正規合格者並びに不合格者について，それぞれに順位を「A」（上位 1/3）「B」（中位 1/3）「C」（下位 1/3）でランクを付けて開示します。</p> <p>なお，合格者及び不合格者がそれぞれ 10 名に満たない場合は，開示しません。</p> <p>【大学入学共通テストを課す場合】（医学部医学科は除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第 1 次選考合格者については，大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点と合計点（本学の配点に換算した点数）及び第 1 次選考での順位（注）と第 2 次選考の教科・科目（面接等）ごとの得点と合計点及び第 2 次選考での順位（注）を開示します。 第 1 次選考不合格者については，大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点と合計点（本学の配点に換算した点数）及び第 1 次選考での順位（注）を開示します。 ○ 教育学部「地域推薦（三重県南部地域）」及び「地域推薦（三重県全域）」（2 段階選抜を実施しなかった場合），生物資源学部「推薦Ⅱ」の受験者については，大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点と合計点（本学の配点に換算した点数），出願書類の評価に含めた面接の得点及び総合得点・順位（注）を開示します。 <p>（注）順位</p> <p>それぞれに順位を「A」（上位 1/3）「B」（中位 1/3）「C」（下位 1/3）でランクを付けて開示します。</p> <p>なお，合格者及び不合格者がそれぞれ 10 名に満たない場合は，開示しません。</p>

(2) 開示の方法

令和6年3月末頃に本学ウェブサイト「入試情報」の「入試成績開示」にて掲載予定です。成績開示を希望する場合は、必ず確認の上、手続きを行ってください。

なお、成績開示を希望する場合は別途成績開示手数料が必要です。

詳細は以下のウェブページでご確認ください。

「入試成績開示」URL：<https://www.mie-u.ac.jp/exam/data/disclosure/>



問い合わせ先

〒514-8507

津市栗真町屋町1577 三重大学学務部入試チーム

電話 059-231-9063

17. 個人情報の利用目的について

1. 本学における個人情報の利用について

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用目的は次のとおりです。

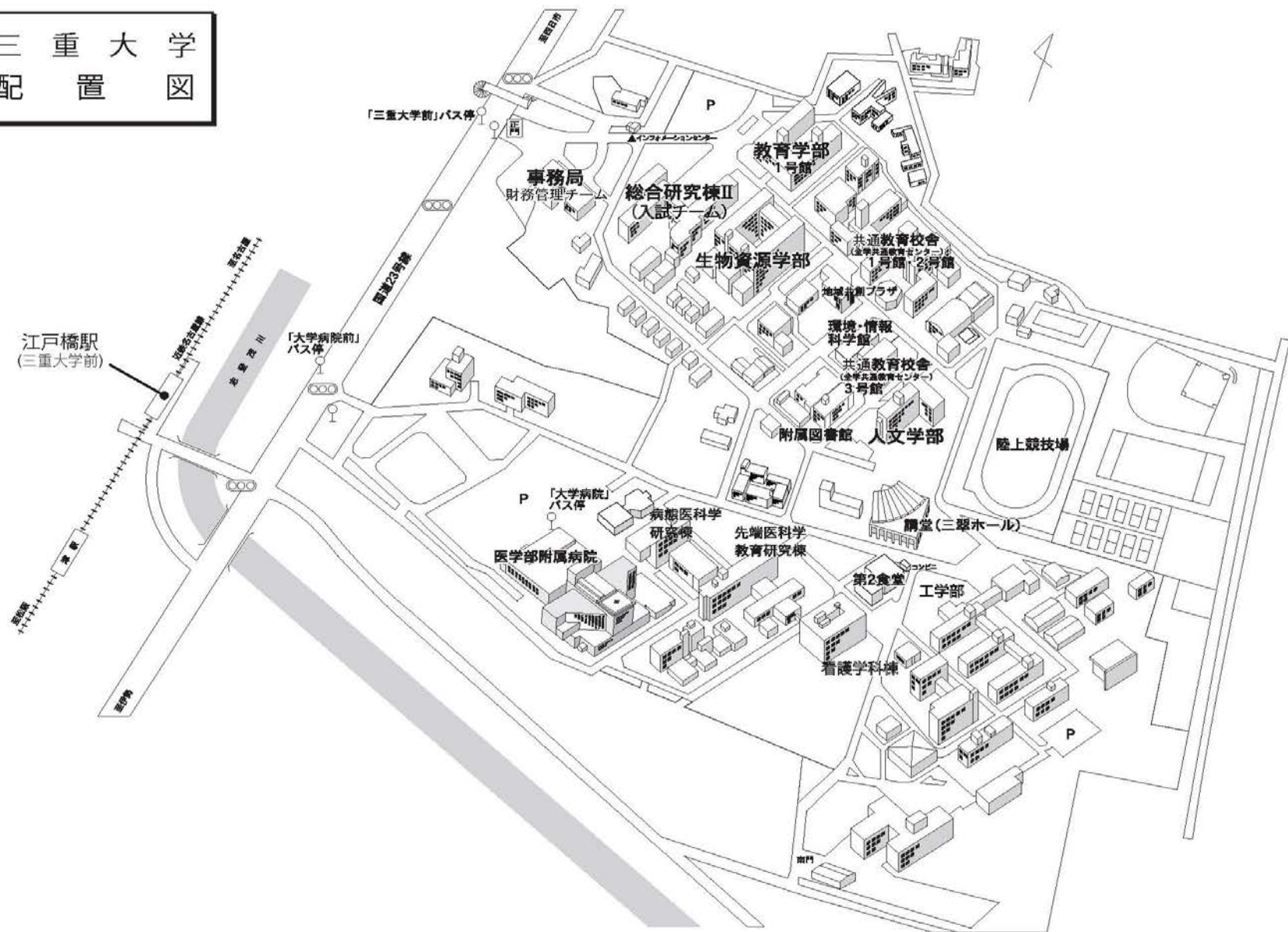
- ① 入学選抜に係る業務で利用します。
- ② 検定料の返還が生じた際に係わる業務，その他志願者への連絡業務で利用します。
- ③ 選考結果を推薦者である高等学校長若しくは中等教育学校長等への通知に利用します。また，教育学部「地域推薦（三重県南部地域）」においては，推薦者である高等学校長若しくは中等教育学校長等，市・町教育長への通知に，医学部医学科「地域枠B」においては推薦者である高等学校長若しくは中等教育学校長，市・町長及び病院長への通知に利用します。
- ④ 合格者の住所・氏名等を入学手続に係わる業務，その他志願者への連絡業務で利用します。
- ⑤ 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に係る業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- ⑥ 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- ⑦ 入学選抜で取得した成績等の個人情報を，1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学金選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- ⑧ 入学手続者の修学指導等に関わる業務に利用します。
- ⑨ 個人が特定できない形で，統計処理等に付随する業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用します。
- ⑩ 入試成績の開示に係る業務で利用します。

2. 独立行政法人大学入試センターへの個人情報の提供について

国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため，合格者及び入学手続者の氏名，性別，生年月日，本学受験番号及び大学入学共通テストの受験番号が，独立行政法人大学入試センター及び合格者の併願先の国公立大学に提供されます。

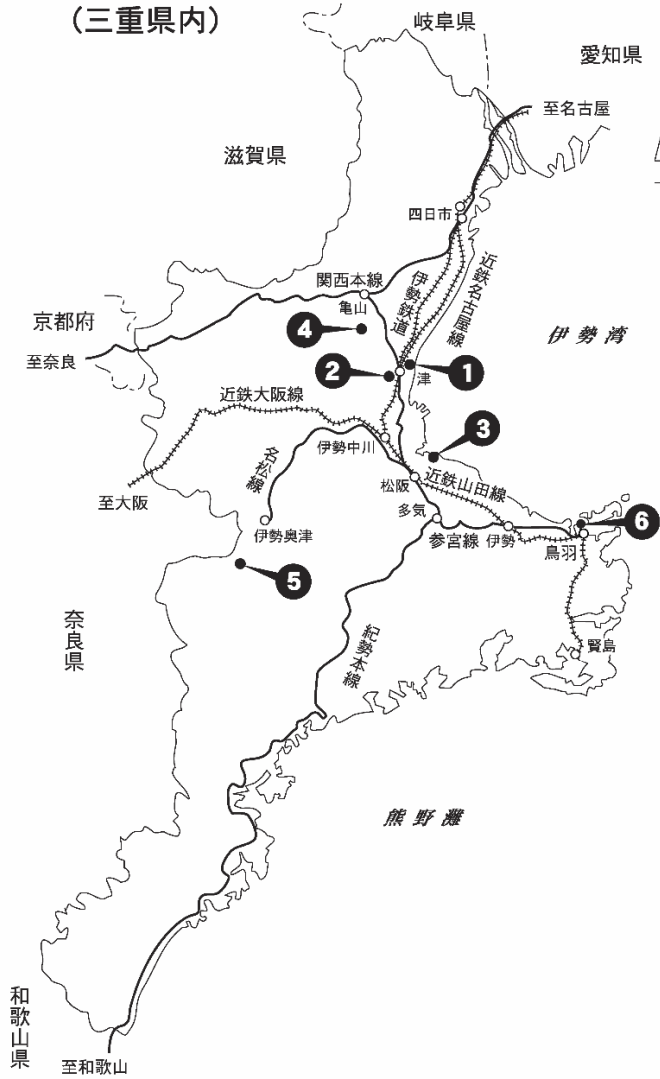
本学が取得した個人情報は，法で定められた場合を除き，本人の同意を得ることなく，上記以外の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

三重大学
配置図

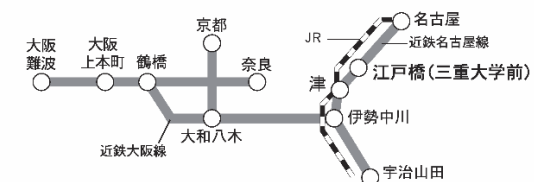


三重大学位置図

三重大学位置図 (三重県内)

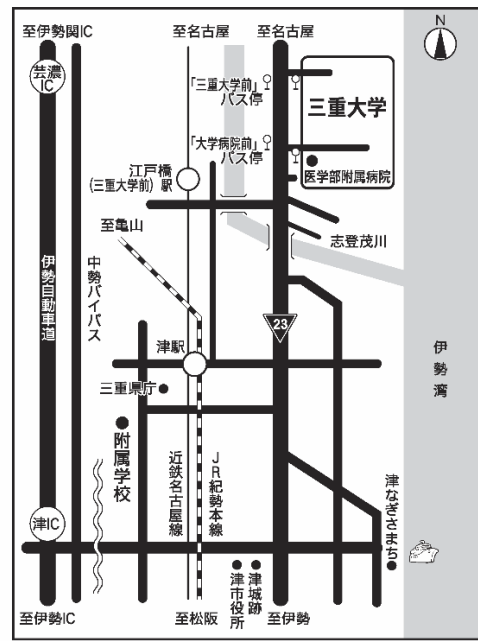


- ① 三重大学
- ② 附属学校
- ③ 練習船基地
附属紀伊・黒潮生命地域
フィールドサイエンスセンター
- ④ 附带施設農場
- ⑤ 附带施設演習林
- ⑥ 附带施設水産実験所



●近鉄電車「急行」で			
名古屋より	近鉄名古屋駅	約60分	江戸橋駅 徒歩 約15分
京都・大阪より	伊勢中川駅	約15分	
●近鉄電車「特急」で			
名古屋より	近鉄名古屋駅	約50分	津 バス 約10分
大阪より	大阪難波駅	約90分	
京都より	京都駅	約110分	
京都より	京都駅	約110分	
●JR「快速みえ」で			
名古屋より	名古屋駅	約50分	約10分

◎大学周辺拡大図



◎本学への交通案内

- ① 近鉄江戸橋駅（急行停車駅）下車 徒歩 15分
- ② JR東海、近鉄、津駅（特急・急行停車駅）下車
津駅前バスのりば（津駅東口）「4番のりば」からバスで約10分
三重交通バス「白塚駅」、「棕本」、「豊が丘」、「サイエンスシティ」、
「三重病院」、「東豊野」、「高田高校前」行きに乗車
「大学病院前」又は「三重大学前」で下車
- ③ 津駅からタクシーで約10分
- ④ 津I.Cから車で約20分、芸濃I.Cから車で約25分

三重大学への各種問い合わせは下記により行ってください。

問い合わせ時間等

月曜日から金曜日（土・日・祝日は除きます。）

8時30分から17時15分まで

○入学試験に関すること

三重大学学務部入試チーム

TEL 059-231-9063

E-mail nyusiteam@ab.mie-u.ac.jp

（入学試験に関する問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。）

○授業科目・学修に関すること

三重大学各学部学務担当

人文学部

TEL 059-231-9197

教育学部

TEL 059-231-9350

医学部医学科

TEL 059-231-5063

医学部看護学科

TEL 059-231-5239

工学部

TEL 059-231-9469

生物資源学部

TEL 059-231-9631

○奨学金（日本学生支援機構等）に関すること

三重大学学務部学生支援チーム

TEL 059-231-9061

○入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること

三重大学学務部学生支援チーム

TEL 059-231-9678

○学生寮に関すること

三重大学学務部学生支援チーム

TEL 059-231-5371

○就職に関すること

三重大学学務部キャリア支援チーム

TEL 059-231-9654

○入学料及び授業料納付に関すること

三重大学財務部財務管理チーム

TEL 059-231-9028

○三重県医師修学資金に関すること

三重大学医学・病院管理部

学務課学務第一係

TEL 059-231-5063

三重県 医療保健部 医療人材課

TEL 059-224-2326

三重大学学務部入試チーム

〒514-8507

津市栗真町屋町1577

TEL 059-231-9063

FAX 059-231-5382

三重大学のウェブサイト「入試情報」をご覧ください。

<https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

